

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業】

推進当初

申請者	愛知県春日井市	初回採択回	令和2年度第1回採択募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	107,500千円 (17,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	高蔵寺ニュータウンは、少子高齢化の進展とともに、坂道が多く、外出機会の減少や免許返納後の移動困難性が指摘されている。これら背景を基に、2016年3月に「高蔵寺リ・ニュータウン計画」を策定し、「快適移動ネットワークの構築」や「多様な移動手段の確保」など、過度に自家用車に依存しなくても快適に暮らせるまちづくりを目指し、モビリティ施策についても主要プロジェクトに掲げ、他の施策と併せて推進してきた。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○オンデマンド乗合サービス等サービススキーム構築 オンデマンド乗合サービス（乗合タクシー）のスキーム構築を踏まえ、サービス提供を開始する。（6,000千円） ○自動運転サービスシステム改修等 過年度に実装した自動運転サービスの持続的な運行及び地域の負担軽減に資する技術開発やシステム修正等を実施する。（4,000千円） ○新たな交通拠点の検討及びこれらを連携したMaaSアプリのシステム改修 センター地区等における新たな交通拠点の整備に向けた検討（必要な機器、環境整備、決済連携など）を踏まえ、これらとシステム連携可能なMaaSアプリの改修及びサービス提供を開始する。（7,000千円）		 石尾台地区のラストマイル自動運転の運行の様子
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・高蔵寺ニュータウンへの転入・転居数の増加（当該年度目標値+40人） ②・・・ニュータウンにおける要介護認定率（当該年度目標値+5.8%） ③・・・ホームページ年間アクセス件数（当該年度目標値+140,000回） ④・・・新たなモビリティサービスの社会実装事業数（当該年度目標値+3事業）		関連URL https://www.city.kasugai.lg.jp/shisei/machi/new_town/1022354/index.html

事業概要【東三河ドローン・リバー構想推進プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県豊川市、新城市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	53,342千円（9,192千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・ドローン・エアモビリティなど未来技術を活用した実証実験や社会実装モデルを構築する ・ドローン・エアモビリティに関する産業クラスターの形成に向けた企業誘致の推進と、多面的な中小企業の創業支援策を併せて展開する ・人口減少下にあっても活力ある地域産業を維持するとともに、新たな雇用の創出を実現する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【推進協議会の運営】（負担金）500千円 ・推進協議会の継続的な事業展開 【シンポジウムの開催】（負担金）1,000千円 ・活動成果を取りまとめた実証実験の成果・検証 【実証実験に係る環境整備】（負担金）5,692千円 ・新たな行政課題への社会実装モデルの展開 【未来技術の人材育成】（負担金）1,000千円 ・地場産業を支える人材の確立 【製品開発と販路開拓】（負担金）1,000千円 ・ビジネスモデルのマッチング創出		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①中小企業との開発・技術連携を伴う実証実験（+27回） ②中小企業が開発した未来技術に関する製品（+8品目） ③製造業の事業所数（豊川市・新城市）（+5事業所）	関連URL	https://hdrc.jp/

申請者	愛知県清須市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	64,339千円（4,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・市の観光拠点である清洲城や同エリアのあいち朝日遺跡ミュージアムの入場者増加による観光振興を図る ・歴史コンテンツや伝統野菜等の地域資源を生かした特産品開発による観光消費の促進 ・市観光情報の発信者である市観光協会の体制強化を図り、その会員の商品や優れたサービスの情報拡散による市内中小事業者の活性化を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	清洲城誘客力を向上させ、観光客数や滞在時間延伸を図り、それに伴う食事や土産品購入などの観光消費を促す ●清洲城誘客力向上事業費 1,300千円 市観光協会が会員事業者間の異業種交流で新たに企画制作する商品開発の支援 ●市観光協会特産品開発費 1,000千円 市観光協会の情報冊子の内容更新を図ったうえで、今後長期的に活用ができ、周遊型観光においてレンタサイクルやご当地グルメ販売促進に繋がる廉価版観光冊子の製作を行う。更には情報発信を能動的に行うプロモーションイベントの場の確保を行う ●市観光協会プロモーション支援補助金 1,700千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①清洲城及びあいち朝日遺跡ミュージアムの入場者数（+68,993人） ②清洲ふるさとのやかたにおける土産品の販売額（+5,264千円） ③特産品開発支援を通じて中小事業者が開発した特産品数（+13品） ④清須市観光協会ホームページのアクセス数（+186,918件）	関連URL	https://kiyosu-kanko.org

事業概要【未来技術を活用した新たな地域社会創出プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	618,102千円 (114,370千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	今まで行ってきた最先端技術の実証実験などを高度化させ、技術の導入・普及に向けたより細やかな導入支援を行うとともに、技術の他分野への活用など、最先端技術活用の裾野を広げ、より多くのサービスを展開することにより、住民生活に支障のない、サービスの導入を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○各分野（移動・物流・エネルギーなど）の実装に向けたビジネスモデルを構築し、スーパーシティを推進する。（委託料、需用費等）30,224千円 ○介護・リハビリ支援ロボットや無人飛行ロボット、サービスロボットの活用や社会実装に向けた支援を行う。（委託料）49,972千円 ○デジタル技術の活用を推進できる自社内人材の育成を支援する。（委託料）34,174千円		
	  （無人飛行ロボットの活用） （サービスロボットの活用）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「介護・リハビリ支援ロボット」「サービスロボット」の各分野での導入件数（+30件） ②スーパーシティにおけるビジネスモデルの作成数（+11件） ③デジタル人材育成研修会の参加人数（+1,320人） ④本事業を通じた5Gワンストップ窓口相談件数（+150件）		
	関連URL	https://www.pref.aichi.jp/site/supercity/ https://aichirx.jp/index.html https://www.fujita-hu.ac.jp/news/j93sdv000000jt85.html https://www.pref.aichi.jp/press-release/aichi-pref-iot/jinzai-shidoin-2023.html https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chih-o-sosei/0000082498.html	

申請者	愛知県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	809,131千円 (158,710千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	自動運転及びMaaSの実装を図り、より快適で効率的な社会交通システムの構築が可能になるとともに、自動運転や、交通に係る技術連携を行うことによる技術力向上により、本県の自動車産業等の国際競争力向上が図られる。また、移動における効率的な仕組みが整うことにより、混雑回避が可能になるなど、「新しい生活様式」に対応した社会を実現することができる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○自動運転社会実装 (役務費、報償費、事務費) 158,710千円 スタートアップ支援拠点として県が2024年10月にオープンするSTATION Aiの利用者に向け、周囲の車速に協調可能な最先端の自動運転車両による定期運行を開始する。 スタートアップ等と連携した新たなモビリティサービスの創出  STATION Ai 名古屋駅		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①MaaS実装に向けた連携者数 (+20件) ②自動運転の社会実装件数 (+16件) ③自動運転実証実験件数 (+60件) ④地域公共交通計画 (地域公共交通網形成計画) の策定市町村数 (+5件) 関連URL あいち自動運転推進コンソーシアム https://www.autonomous-car.pref.aichi.jp/ 愛知県HP https://www.pref.aichi.jp/site/jidounten/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-bosei/0000082498.html		

事業概要【スタートアップ等によるイノベーション推進・競争力向上事業】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	806,555千円 (125,802千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	本県が持つモノづくりを始めとした既存の産業の圧倒的な集積と新しい技術やアイデアを持つスタートアップが結び付き、さらに地域の大学、行政、金融などの支援機関が参加するとともに、海外の先進的な機関の知見を共有することで、革新的なスタートアップ・エコシステムを創出し、グローバル時代においても存在感・競争力を持ち続けられるよう、我が国の経済をけん引する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○スタートアップ・オープンイノベーション支援 ・愛知県の産業特性を踏まえた事業領域で活動する県内等スタートアップに対して、支援プログラムを実施 (委託料、役務費) 75,222千円 ・愛知県の産業特性を踏まえた事業領域の海外スタートアップと、本県の事業会社とのオープンイノベーションの実現を狙う支援プログラムを実施 (委託料、役務費) 50,580千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ベンチャーキャピタルや金融機関等による投資・融資、事業会社との取引・提携開始件数 (+35件) ②世界トップクラスのアクセラレーター事業者による支援プログラムにおける応募スタートアップ数 (+500件) ③超短期型アントレプレナー創出プログラムの参加者数 (+90人) ④専門家派遣等による生産性向上・コスト国際競争力強化企業数 (+65件)	関連URL	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kaigairenkei-suishin/ https://www.aichi-startup.jp/packages/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

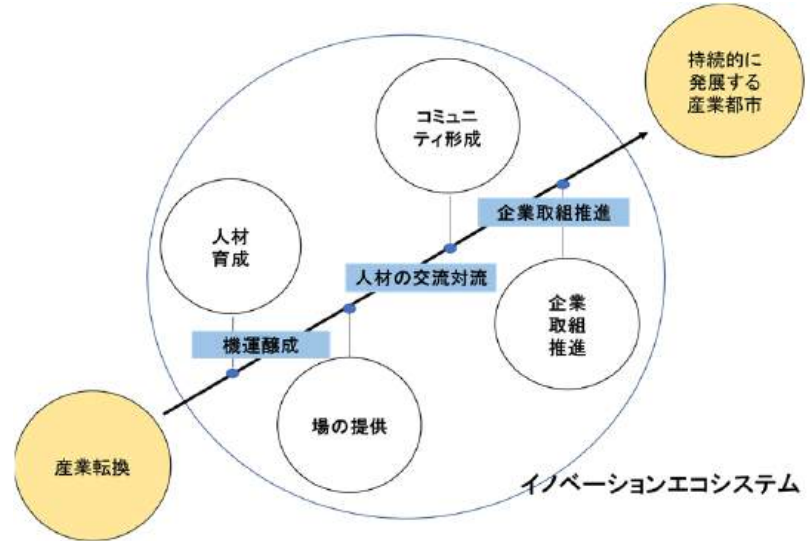
事業概要【「ツウ」な魅力発信による誘客向上・地域活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	632,402千円 (95,907千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	地域資源を生かし、日本人旅行者及びアジア諸国をはじめとした訪日外国人旅行者の呼び込みを一層強化し、地域の活性化に結び付けていくとともに、2022年11月に開園したジブリパークや、2026年度に開催予定のアジア競技大会、2027年度のリニア中央新幹線の東京－名古屋間の開業などのビッグプロジェクトに併せて、愛知ならではの魅力の効果的な発信を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「ツウ」な愛知発信による誘客及び魅力向上 ・観光関連事業者を巻き込んだ観光プログラムの造成を促進（委託料）5,454千円 ・陶芸の魅力発信（報償費、委託料）1,398千円 ・医療ツーリズムの推進（委託料、報償費、事務費）6,249千円 ○ジブリパーク周遊観光におけるPR・プロモーション等実施 ・「ジブリパークのある愛知」をイメージしたキービジュアルや観光動画によるPR・プロモーション（委託料）82,806千円		 © Studio Ghibli
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本県の延べ宿泊者数（+662,260人泊） ②本県における観光消費額単価（+1,916円） ③陶磁美術館本館来館者及びこま犬関連イベントの参加・観覧者数（+12,520人）※R5～R6年度末まで休館 ④外国人患者受け入れ人数（+1,500人）		関連URL https://l-tike.com/bw-ticket/gp-aichi/ https://medicaltourism.pref.aichi.jp https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2021/t_uchisoto/index.html https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2021/p_honnkann/index04.html https://www.youtube.com/watch?v=hIoq1QuBQLQ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要【DX時代に向けた産業イノベーションと次世代育成プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県刈谷市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	210,431千円 (51,419千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・市内ものづくり企業を対象としたマッチングによる既存事業の高度化や新規事業の創出を図る ・本市で活動するIT人材やIT企業を活用し、次代の産業の担い手の育成及び確保を図る ・地域経済の柱となる産業が複数存在する足腰の強い産業構造への転換を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○職歴・階層別及びテーマ別に社会人基礎力としてのビジネス基礎能力、マネジメントスキルの習得セミナーを開催 ・（事業委託料）3,700千円 ○オープンイノベーションを推進するためのプログラムを実施 ・（事業委託料）26,083千円 ○デジタル関連分野の人材やIT企業の誘致 ・KariCoCoの運営（事業委託料）4,799千円 ・IKOMAI DESKの運営（事業委託料）5,200千円 ○小中高校生を対象とするIT教育やキャリア教育、若年技術者の育成に資するイベントを開催 ・（事業委託料）6,717千円  図は「イノベーションエコシステム」を示しています。中心には「人材の交流対流」があり、これに「人材育成」「機運醸成」「場の提供」「企業取組推進」「コミュニティ形成」が関連しています。左下には「産業転換」の黄色い円、右上には「持続的に発展する産業都市」の黄色い円があり、矢印でつながっています。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①IT人材誘導数及び企業誘致数（+20件） ②ビジネスマッチング推進事業及びオープンイノベーション推進事業によるマッチング件数（+50件） ③セミナー等受講者数（+700人）	関連URL	https://www.city.kariya.lg.jp/sangyo/sangyoshinko/1010401.html https://www.city.kariya.lg.jp/shisei/seisaku_keikaku/sougokeikaku/1013287.html

申請者	愛知県豊田市、岐阜県恵那市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,198,641千円（900,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・地方自治体が主体となって世界ラリー選手権（以下「WRC」）を開催 ・愛知県豊田市及び岐阜県恵那市を中心とする三河・東濃地域（以下「本地域」）で官民が連携して「ラリーをいかしたまちづくり」を進め、山村振興と産業振興を図り、地域の「経済基盤の強化」、「就業機会の創出」、「生活環境の整備」に取り組む		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・WRC継続開催による地域活性化事業 847,000千円 ・WRC開催とそのインパクトをいかした地域活性化事業 40,000千円 ・クルマを安全・安心に楽しめ、環境問題の解決に寄与する事業13,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①豊田市及び恵那市における主な観光施設やイベントの年間観光入込客数（+1,520,000人） ②WRCやモータースポーツに関連するイベントの集客数（のべ人数）（+980,000人） ③WRCに関連するイベント開催における豊田市及び恵那市への経済波及効果（+13,300百万円） ④関連企業の自動車販売台数（登録車）（+25万台）	関連URL	・フォーラムエイト・ラリージャパン2024 豊田市HP https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/shogaigakushu/sports/1054881/index.html ・フォーラムエイト・ラリージャパン公式HP https://rally-japan.jp/ ・恵那市ラリージャパン活用推進実行委員会HP https://rally-ena.jp

事業概要【スポーツを核とした健康まちづくり事業】

推進当初

申請者	愛知県西尾市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	163,500千円 (40,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	あらゆる市民が心身ともに健康的に生活できるよう、本市の魅力を生かして楽しく継続して健康づくりに取り組むことのできる仕組みを構築し、高齢者から若者まで元気に活躍し続けられる社会、マルチステージ社会の早期構築を促し、住み続けられるまちを形成することを目指すとともに、スポーツ大会やツアーに市外からの参加者を呼びかけ、関係人口の創出・拡大を図り、将来的な移住者の増加を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①にしお健康ツーリズム事業 スギ薬局と連携し、企業等における健康診査などにおいて、健康上のリスクのある人（特定保健指導の対象者及び対象にならないがリスクの高い人）を対象に、市内の温泉や抹茶等の食の資源を活用した健康プログラムを企画開発する。また、企画開発したプログラムを組み込んだモニターツアーを実施し、プログラムの検証と改善を図るとともに、観光事業者と連携して健康ツーリズム商品として販売の拡大を目指す。 健康ツーリズム実施業務補助経費1,500千円 ②フルマラソン大会等の開催による健康づくり事業 健康づくりのまちとしてPRしていくためのシンボリックイベントとしてフルマラソン大会を開催 ・にしおマラソン（フルマラソン）実施事業補助金38,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①健康ツーリズム参加者数（+95人） ②フルマラソン参加者数（+1,300人） ③市外からのマラソン参加者数（+5,200人）	関連URL	https://www.city.nishio.aichi.jp/s-hisei/keikaku/1001515/1003264.html



事業概要【デジタル技術の活用及びスタートアップとの協業によるイノベーション創出事業】 推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	522,449千円（195,788千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	デジタル技術の活用とスタートアップとの協業を両車輪として取組を強力に推進していくことにより、本県が、日本の産業首都、更には国際的なイノベーション拠点として飛躍していくことを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○産業のデジタル化、スタートアップとの協働 スタートアップと企業のオープンイノベーションイベント（商談会）、インキュベーションプログラム、交流イベント等の実施などを行う。（委託料等）57,098千円 ○行政分野のデジタル化 スマートシティ化のモデルとなる先進的な事業に対して、市町村の取り組みの支援などを行う。（委託料等）138,690千円 【スマートシティモデル事業】 ○事業スキーム 公募 → コンソーシアム組成 市町村 （代表者） 企業A 企業B ⋮ 市町村が提案書提出 会計管理は、構成員企業でも可 → 提案書提出 → 選定 ○岡崎市「次世代パーソナルモビリティで 中心市街地の渋滞緩和チャレンジ」 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル技術の導入を行った企業数（+15企業） ②スタートアップと愛知県企業とのオープンイノベーションによる事業共創件数（+10件） ③行政課題に対する民間企業等からの解決策のマッチング数（+28件） ④本事業を通してスマートシティ化に取り組み始めた市町村数（+13件） 関連URL https://www.pref.aichi.jp/site/smartcity-modelproject/ https://www.pref.aichi.jp/press-release/supplier2023-3.html https://www.pref.aichi.jp/press-release/aichi-pref-iot/dx-challenge2023.html https://www.aichi-startup.jp/packages/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html		

申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	616,568千円 (133,078千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	スタートアップ企業等の新しいアイデアや技術を活用したイノベーション創出による生産力の強化と輸出拡大・地産地消の取組による県産農林水産物の需要拡大を両軸として、本県農林水産業の持続的な発展と地域の活性化に向けた人材の育成を進めていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「あいち農業イノベーション研究会」を推進母体として、産学官連携による農業イノベーション創出に取り組む。 (委託料、事務費、研修費、研究開発費) 90,000千円 ○輸出拡大に向けた産地間連携による販売戦略をブラッシュアップし、海外店舗でのプロモーション（販売促進イベント）を実施するとともに、オンラインでの海外バイヤーと商談する機会を提供する。(委託料、事務費) 4,976千円 ○SDGsに貢献する取組として地産地消のデジタルプロモーションを実施するなど、県産農林水産物の知名度向上に取り組み地産地消を推進する。(委託料、負担金、事務費) 38,102千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①愛知県農業総合試験場とスタートアップ等による共同研究実施件数 (+26件) ②新技術を活用したビジネスモデルの創出件数 (+18件) ③農林水産物等を購入する際に愛知県産を優先して購入する割合 (+11.8%) ④オンライン商談での商談成約率 (+18%)	関連URL	https://aichi-agri.jp/ https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/iitomoaichi/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html



申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	549,141千円 (183,860千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	デジタル人材、高度人材の育成や多様な人材の社会参加を通して、イノベーションを生み出す土壌を醸成するとともに、労働力の確保を図り、「すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知」、「イノベーションを創出する愛知」を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○モノづくり現場の自動化を担うロボット S I e r の人材創出を目的とした「高校生ロボットシステムインテグレーション競技会」を開催するなど、デジタル人材等の育成を行う。 (委託料等) 110,630千円 ○外国人留学生を積極的に受け入れ、県内企業への就職を支援し、当地域の発展に資する高度人材としての活躍を促進するなど、多様な人材の社会参加を推進する。 (委託料等) 38,558千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「デジタル人材育成支援事業」における研修の受講者数 (+4,560人) ②競技参加校のロボット S I e r 企業への就職人数 (+36人) ③県内大学等を卒業した留学生の国内就職率 (+8.7%) ④障害者スポーツに関する取組への参加者数 (+3,500人)		
	 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会		
	関連URL	https://www.aichi-value.com https://sileague.aichi.jp/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/jinzai/r4-degitalikusei.html https://paraspo-aichi.com/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyougi-shisetsu/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html	

事業概要【都市と地域のベストマッチングによる地域力向上プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	658,763千円 (158,024千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	本地域のもつ、バランスの取れた産業構造、豊かな自然、便利な交通アクセスを有する地域の強みを最大限に生かして、東京圏、大阪圏を含む大都市への住民に対してベストマッチングな魅力を提供することで「ひと・しごと」を呼び寄せ、中京大都市圏の「東の拠点」として、また、愛知三島の文化的な強みを生かした特色ある地域として、全国・世界とつながる魅力的な地域を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○東三河地域の人材確保に向け、大都市圏とのマッチングやイベント等により情報発信などを行う。(委託料、事務費) 51,732千円 ○三河山間地域の人材確保・育成に向け、地域の課題を発見し、解決を図るために起業を行う人材の育成などを行う。(委託料、事務費) 91,740千円 ○離島地域の人材確保・育成に向け、イベント等出展やSNS等による効果的な情報発信手法の確立などを行う。(委託料) 14,552千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①コーディネート機能による、東三河の各地域への訪問回数 (+350回) ②起業家支援セミナー参加者数 (+130人) ③離島地域(日間賀島、篠島、佐久島)の関係人口数 (+1,100人) ④本事業における山間地域関係人口SNSのフォロワー数(増加数) (+750人)	関連URL	https://iju-higashimikawa.jp https://spdesk.mikawayamazato.jp https://aichi-yamazato.jp https://www.rito.aichi.jp https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要【県民・企業・NPO等と連携したSDGs具体化プログラム】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	179,137千円 (58,837千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	生物多様性保全の取組を始めとしたSDGsの取組を確実に進展させ県民へ浸透させること、企業・団体運営にSDGsを統合させること、企業・大学・NPO等のマッチングを通して取組の創出や継続支援を図ることにより、持続可能な社会の実現を達成する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○SDGsを達成するための具体的な取組 ・ステークホルダー間のパートナーシップ形成を図る交流会の開催や、若い世代のSDGsの取組支援など (委託料、事務費) 2,788千円 ・NPOに対するSDGsセミナーや、NPOが活動内容等を発表するNPOアワードの開催など (委託料、事務費) 5,575千円 ・「SDGs AICHI EXPO」を開催など (負担金、委託料) 29,000千円 ○生物多様性保全のための具体的な取組 SDGsの理念に沿った生物多様性保全に向け、保全活動の担い手養成、ユース育成、民間参画パートナーシップの促進など (委託料、事務費) 21,474千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①SDGs AICHI EXPOに出展する企業・団体数 (+45企業・団体) ②生物多様性保全の担い手として育成したユース (+215人) ③SDGsセミナーへの参加NPO団体数 (+60団体) ④「愛知県SDGs登録制度」登録企業等数 (+750企業等)		
		関連URL	https://sdgs-aichi.com/ https://kankyojoho.pref.aichi.jp/ikimono/ https://kankyojoho.pref.aichi.jp/ikimono/supporters/ https://kankyojoho.pref.aichi.jp/ikimono/certification/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/matching.html https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/2019gakusei.html https://www.pref.aichi.jp/kikaku/aichi-sdgs/ https://www.aichi-npo.jp/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html



事業概要【公民連携の推進による社会課題解決事業】

推進当初

申請者	愛知県名古屋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	92,600千円 (39,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	本市では令和4年度より、民間企業等の有する資源やノウハウ、アイデア、創意工夫を市政運営に活かすための公民連携の仕組みを新たに構築し、公民連携の推進により、複雑化・多様化する社会課題に的確に対応するとともに、この仕組みを持続的なものとするため、将来を担う人材の育成にも取り組む。これにより、多様な主体がそれぞれの強みを活かして活躍し、将来にわたり、市域一丸となって社会課題解決に取り組む都市の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○民間企業等との公民連携の推進 31,000千円 ・「公民連携窓口」及び「公民交流フィールド」の運営(委託料30,685千円) ・「公民連携ポータルサイト」の運営(委託費：315千円) ○社会課題解決人材の育成 8,200千円 ・学生の社会課題解決プログラムの推進（委託費：6,900千円） ・学生による企業の社会貢献活動等の発信（委託費：970千円） ・事業広報及び関係者との成果等の共有（委託費：330千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①公民連携窓口を通じて実現した公民連携事業の件数（実証実験含む）（+225件） ②公民交流フィールドの企業登録数（+300社・団体） ③公民連携ポータルサイトのアクセス件数（+37,500件） ④社会課題解決人材育成事業参加者数（学生・大学・地域）（+370人）	関連URL	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000080550.html

事業概要【戦略的人材マネジメントによる名古屋圏域の活性化】

推進当初

申請者	愛知県名古屋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	134,000千円 (41,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・市内中小企業が経営戦略と人材戦略を連動させ、「人材」を戦略的にマネジメントする能力を向上させる ・個々の企業の経営戦略等に応じた最適な手法による効果的な人材の獲得が可能になる ・従業員等の企業への貢献意欲、企業魅力の向上が図られ、経営基盤が強化される		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	事業1 採用ブランディング支援 (委託料11,000千円) ・採用ブランディング手法の導入、実践を支援 ・2年間の個別伴走支援の事例分析による名古屋版採用ブランディング活用マニュアルの作成、市内中小企業への成果事例の波及 事業2 課題解決型人材活用支援 (委託料11,250千円) ・外部人材活用のメリットや手法を学ぶセミナーを開催 ・外部人材の活用により経営課題解決を実践しようとする企業に対して、コーディネーターによる伴走型支援を実施 ・事例集の作成、事例報告会の開催 事業3 多様で柔軟な働き方導入支援 (委託料18,700千円、報償費50千円) ・多様で柔軟な働き方の導入を促すセミナーの開催 ・多様で柔軟な働き方の導入を実践しようとする企業に対して専門家を派遣 ・事例集の作成、市内中小企業への成果事例の波及		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じた新規雇用者数 (+85人) ②企業向けセミナー等参加者数 (+540人) ③個別支援企業数 (+100社)	関連URL	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000080550.html

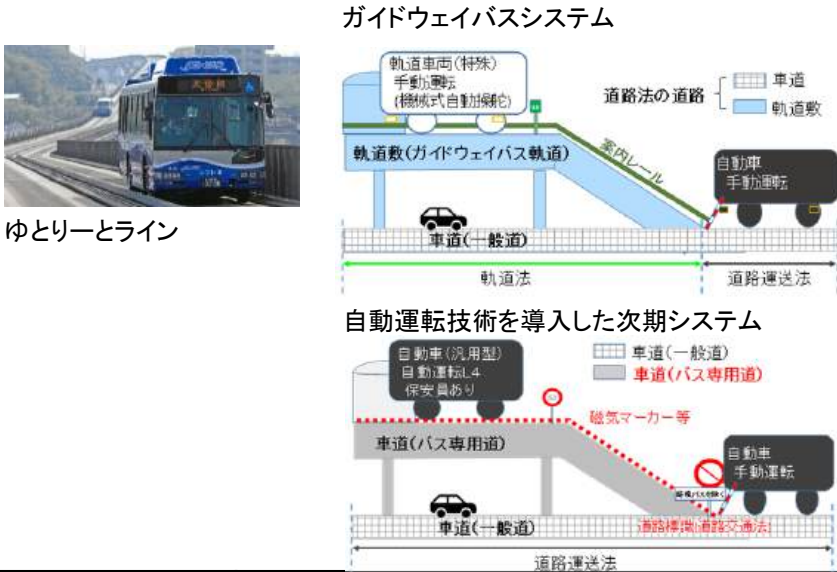


事業概要【中小企業によるグリーン・イノベーション構築促進事業】

推進当初

申請者	愛知県名古屋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,290千円 (21,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・地域雇用の受け皿である中小企業において、環境課題を踏まえた事業活動、新商品・サービスの創出等のビジネス展開イノベーション力を向上させ、魅力的な企業として成長を促す ・中小企業の維持発展を支援し、市民・顧客へアピールすることで、産業人材の流出抑制及び地域の産業を活性化し、高い産業競争力を維持することで、持続可能な成長を図る ・「産業競争力を活かして成長を続けるまち」の実現を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 温室効果ガス排出削減モデル事業者の選定・指導 3,645千円 (委託料) ○ カーボンニュートラルに向けた新商品・サービス開発支援 10,895千円 (委託料) ○ カーボンニュートラルに向けた普及啓発と中小企業の取組の情報発信 6,040千円 (委託料) ○ 産学官金連携による会議の設置 420千円 (委託料)  Green Innovation NAGOYA		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①イノベーション創出件数 (+12件) ②セミナー延べ参加者数 (+300人) ③参加企業の新規雇用者数 (+18人)	関連URL	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000080550.html

申請者	愛知県名古屋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	114,690千円 (50,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	本市北東部の基幹的な公共交通であるゆとりーとラインが採用しているガイドウェイバスシステム (案内装置の誘導によりバスのハンドル操作を自動化) は、本市以外に採用実績がなく、事業の継続が困難な状況となっている。本事業では、これを自動運転バスに転換するために必要な技術面や法制度への整合化について検討していくものである。この取組は、どこにでも展開できる汎用的なデジタル基盤を実装することを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○先進技術を活用した自動運転バスの計画策定 (R4実施) ○実験走行及び実験結果の評価 (R5実施) ○仕様設計及び関係機関との連携拡大(R6実施) 50,000千円 (委託料) ・仕様設計…自動車メーカーとの連携により、自動運転バスについて、製造受託を見据えた詳細検討を行い、仕様設計を作成する。 ・関係機関との連携拡大… 仕様設計の過程において、他の協力機関から各種データを提供していただくほか、複数の自動車メーカー、関連メーカー、産総研等から技術的・専門的な知見に基づく助言を受けることにより、関係機関との連携拡大を図る。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業に関わったデジタル人材の人数 (+35人) ②普及啓発ウェブサイト閲覧回数 (+7,500回) ③ゆとりーとライン沿線の小学校区の人口 (+1,920人)	関連URL	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000080550.html



事業概要【なごや農業「まるっと支援」事業】

推進当初

申請者	愛知県名古屋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	64,120千円 (22,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・地元農産物を貴重な観光資源としてその価値を見直し、観光客が楽しめる観光コンテンツとして効果的に打ち出すことにより、本市ならではの魅力・強みを活かした戦略的な観光施策の推進を図る ・「なごやめし」の普及促進の取り組みを通じて、名古屋大都市圏の観光面における成長を牽引することで、観光交流の推進によるにぎわいあふれるまちの実現を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○名古屋コーチンブランド力強化事業 ・消費促進に向けたPR事業（委託料）15,000千円 ・幅広い地域や世代に向けたPRを実施するための協議会への参画（負担金）1,500千円 ・他都市プロモーション（委託料）600千円 ○地元農産物ブランド化支援事業 ・生産者と事業者のマッチング支援（委託料）1,000千円 ・地元農産物を利用した製品のPR事業（委託料）2,000千円 ○ICTを活用した地元農産物支援事業 ・ウェブサイトによる広報及びイベント等配信（委託料）2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客・宿泊客動向調査における、本市を訪れた人のなごやめしの喫食体験割合（過去5年以内） （+9.9%） ②名古屋コーチンの月平均消費量（+20t） ③本事業を通じた生産者と事業者のマッチング件数（+4件） ④情報サイト閲覧者数(セッション数)（+100,000人）	関連URL	https://www.city.nagoya.jp/somu/page/0000080550.html

事業概要【持続可能な食と農のまちづくり】

推進当初

申請者	愛知県豊橋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	116,834千円 (51,084千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・地元農産物から生み出される魅力的な食文化を域内で消費できる仕組みづくりと、域外へのブランドイメージの定着を図り、食を目当てにこの地域を訪れる交流人口や、訪れなくてもこの地域の食のファンとなる関係人口の拡大を目指す。 ・食と農の土台となる農産物の生産性を維持するとともに、交流人口や関係人口の需要増加により、それが農業の活性化につながるという好循環を生み出す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○飲食店・菓子店と農家のマッチングイベントの開催し、地元農産物を使用した新メニュー開発の支援及びPRを実施することで、地産地消に取り組む店舗の増加や市内外へ食と農のまちとよはしを発信する (委託料) 5,000千円 ○地産地消に取り組む市内飲食店や菓子店等を巡るスタンプラリーを実施し、参画店舗を掘り起こす (委託費) 3,864千円 ○地産地消に取り組む飲食店や菓子店のPR (印刷製本費) 220千円 ○農家とスタートアップ企業が協働で商品開発を行うマッチングコンテストを開催 (委託料) 22,000千円 ○前年のコンテストでマッチングした農家とスタートアップの事業化に向けた支援 (委託料) 20,000千円  ←飲食店・菓子店×農家マッチング事業による新メニューお披露目  →飲食店・菓子店×農家マッチング会の様子		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①豊橋市の観光入込客数 (+ 200,000人) ②農産物直売所入込客数(道の駅とよはし) (+ 125,000人) ③地産地消に取り組む飲食店等と農家の件数 (+ 80件)	関連URL	https://www.city.toyohashi.lg.jp/57222.htm https://www.city.toyohashi.lg.jp/49955.htm

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	52,800千円 (15,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・ECサイトの運用による地元商材のPR及び販路拡大機会の提供を行う ・市内事業者に対し、試験的にECサイト運用を体験できる機会を提供することで、事業者のデジタル化を図る ・全国の消費者が当市に訪れることなく継続的に商品を購入できる環境を整備する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ECサイトの運用 13,200千円 ECサイトのシステム管理及び運営を行う。運営では、出品者を募集し登録管理を行うほか、受注管理・振込・問い合わせ対応・商品説明等記事管理・コンテンツ管理を行う。 ○プロモーション施策の実施 2,500千円 全国の消費者に対しECサイトの利用を促すため、WebやSNS、紙面等、様々な媒体を活用してECサイトのプロモーションを実施する。 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ECサイト販売額(+5,300千円) ②ECサイト出品事業者数(+60者) ③ECサイト出品数(+120品)	関連URL	https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1319/p019877.html

事業概要【オクオカイノベーション事業】

推進当初

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	362,757千円 (81,369千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・中山間地域において、住民主体の持続可能な地域づくりを図る ・地域内の遊休施設等を活用して、関係人口の創出・拡大を図る ・中山間地域への移住・定住促進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・既存施設のイノベーション 45,123千円 移住相談窓口の運営、移住関係情報発信等を行い、地域に人を呼び込むことを図る。 農林業の担い手確保のためのイベント等を開催する。 地域住民を主体として、地域の将来計画、活性化のための事業を推進する。 ・耕作放棄地等のイノベーション 25,246千円 漆の新規植栽を進めるとともに、植栽手法の確立に向けて樹木の維持管理及び追跡観察を行う。 ・施設改修 11,000千円 中山間地域と都市部との交流促進を図るための施設改修を実施する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	・農林業体験イベントを通じて移住相談へつながった人数（+17人） ・複業人材の育成人数（+4人） ・中山間産品ふるさと納税返礼品設定数（+25件） ・新規で漆を植栽した耕作放棄地等面積（+19ha）	関連URL	https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1319/p019877.html

事業概要【QURUWA戦略担い手発掘・育成事業】

推進当初

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,578千円 (21,749千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・まちの魅力や取り組みを再編集し、QURUWA地区のブランディング及びプロモーションを行うことで、パブリックマインドを持つ民間を呼び込む。 ・出店などのまちへの投資を検討している民間企業者と共に、まちの潜在資源を活用して都市・地域の経営課題を解決を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○まちづくりデザインプロモーション業務を推進する にかかる経費 12,991千円 QURUWAWEBの受託者や地域ライターを中心とした情報発信チームで、情報発信チーム自らがスポンサーや広告料収入を上げるために企業版リノベーション事業に関わる企業等への営業を実践し、自立化するための自主財源獲得に向けた取り組みを実施する。 ○企業版リノベーション検討支援に係る経費 8,758千円 1,2年目のスクール卒業生にもリノベーションスクールの運営に参加してもらいながら、自走化したマネジメント体制で、事業者間の連携促進による複合的な事業イノベーションの促進を図る。   左：プロモーション（QURUWAWEB） 右：リノベーションスクール（スクール発表会）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①主要回遊動線QURUWA上の1日平均歩行者通行量（+753人/日） ②QURUWAWEBにおけるコンテンツのダウンロード回数（+50回/月） ③地区内の新規出店者数（+9店）	関連URL	総合政策指針審議会 https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1319/p019877.html

事業概要【若年層をターゲットにした観光で稼ぐ観光産業都市の実現】

推進当初

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	250,261千円（30,360千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機として岡崎市に対する歴史観光の注目度が増すタイミングで、大河ドラマ館設立と合わせ、観光消費を促すコンテンツを整え観光産業都市として歩を進める。 ・若年層向けの歴史文化資産を活かしたコンテンツや環境整備を行うことで、持続的に成長を続ける観光産業の確立を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○若年層向けコンテンツ開発・誘客促進事業 12,100千円 ・本市歴史資産を題材にした回遊型謎解きゲームのPR。 ・若者向けの体験型ナイトタイムコンテンツの開発と磨き上げ。 ・民間事業者によるイベントの誘致と実施支援 ○回遊促進事業 11,660千円 ・市内各地の歴史資産等の回遊を促すイベントコンテンツを造成。 ・デジタル周遊にクーポン機能等を活用した市内回遊と消費拡大。 ・2年目に開発した健康歴史観光パッケージの磨き上げを実施。 ○プロモーション・デジタルマーケティング事業 6,600千円 ・若年層向けの各種SNSツールを活用した観光プロモーション。 ・観光施設や地域個店等によるデジタルツールを活用した情報発信の自走化。  左：ゲーミフィケーションツール 右：若者向けナイトタイムコンテンツ		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①Googleマイビジネスの総閲覧数 （+370,000PV） ②ゲーミフィケーションツールのユーザー登録者数 （+9,000人） ③1人あたりの観光消費額（宿泊客） （+3,055円） ④1人あたりの観光消費額（日帰り客） （+820円） 関連URL 総合政策指針審議会 https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1319/p019877.html		

2

事業概要【伝統のまち「はんだ」の魅力向上事業】

推進当初

申請者	愛知県半田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	104,059千円 (32,180千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・本市の醸造文化をふまえた観光分野の取組や商業、文化芸術分野等の取組を一体的に行うことにより、活気あふれる地域づくりを目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○醸造を始めとした食にまつわる観光の推進やブランディング ・鉄道事業者とタイアップした食の観光推進 (委託料) 10,471千円 ・「醸造品」や「醸造文化」をテーマとしたキャンペーン (委託料) 2,576千円 ○デジタル技術を活用した誘客や回遊性の向上 ・インフルエンサーを活用した観光情報の発信 (委託料) 2,779千円 ○文化・芸術分野の取組と連携した誘客 ・まちなかでアート事業 (謝金等) 464千円 ・シティプロモーション事業 (委託料等) 396千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①中心市街地の歩行者数 (+18,000人) ②デジタルクーポン利用者数 (+30,850人) ③鉄道キャンペーン参加者数 (+1,290人) ④半田市観光協会が発信している観光SNSのフォロワー数 (+2,135人)	 (食の観光推進の取組 (ワークショップ) の様子)	(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) 関連URL https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html

事業概要【地域経済と人材の循環による構造改革プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県豊川市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,469千円 (21,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・地域内の事業者が変化する時代への適切な対応方法を学ぶ ・大規模集客施設への地域外からの集客を観光周遊等につなげる ・新分野への進出等を実践する事業者の増加や、既存の商店街への観光客等の増加を図る ・地域商業を活性化するとともに、地域産業の魅力の向上につなげる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【地域商業の活力向上に向けた事業】 ・地域の事業者に対するセミナーや講座の開催（委託費等）1,000千円 ・店舗改装や備品購入等への支援（補助費）12,500千円 ・大規模集客施設へのアンテナショップ等の開設、運営支援（補助費）6,500千円 ・とよかわブランドの活用と磨き上げ支援（補助費）1,500千円 【労働者の確保に向けた事業】 ・移住、定住に向けた施策の啓発		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①商業者の新規事業計画策定件数（+60件） ②中心市街地の通行量（+16,486人） ③ふるさと納税返礼品数（+110品） ④まちなか居住補助金交付件数（+470件）	関連URL	https://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/sangyo/chushokigyoshaseido/hojokinannai/syougyoukyouka.html

申請者	愛知県津島市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	21,044千円 (6,765千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	市民の健康増進を図ることで、いつまでも健康的に暮らすことができるとともに、食品ロスの削減により、まちの持続可能性を高め、新型コロナウイルス感染予防措置などにより疲弊する地域経済を、ITの活用により活性化する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○健幸ウォーカブル事業を実施し、その検証としてワークショップを実施する。また、地域の活動として移行するための検討を実施する。 ・委託料 5,544千円 ○市内の各小学校区毎にウォーキングコースを作成（マップ作り） ・印刷製本費 792千円 ○ウォーキングマップを市内へ全戸配布する。 ・行政文書配送委託料 165千円 ○食品ロス削減マッチングサービスの活用 ・専用WEBサービス利用料（委託料）264千円	   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「あいち健康プラス」アプリ登録者数（+600人） ②食品ロス削減量（+11,400kg）	関連URL	https://www.city.tsushima.lg.jp/s-hisei/machidukuri/sougousenryaku/index.html

申請者	愛知県豊田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	29,400千円 (7,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	豊田市SDGs認証制度の構築・運用、SDGs担い手育成事業（ローカルSDGsに関する理解促進ツールの制作及びそれを活用するファシリテーターの養成）、SDGs情報発信事業（デジタルの活用等による地域・市民への訴求と活動の見える化）を行うことによって、地域事業者及び市民のSDGs達成加速化、地域内経済の好循環創出及び持続可能な地域づくりをはかることを目的とする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	豊田市SDGs認証制度 〇SDGs認証制度運営及びプロモーション等 ・認証制度プロモーション（委託料） 1,725千円 ・認証審査・チェック（委託料） 3,500千円 〇SDGs理解促進ツールを使うファシリテーターの養成 ・ファシリテーター養成講座（委託料） 1,680千円 〇SDGs推進企業等が利用するオンラインプラットフォーム運営 ・プラットフォーム保守・運営（使用料） 495千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①経営高度化補助件数（+300件） ②SDGs認証団体数（+150件） ③イベント等参加者数（+7,000人） ④パートナー連携事業件数（+40件）	関連URL	豊田市SDGs特設ページ https://www.city.toyota.aichi.jp/s-hisei/juten/1054234/index.html

事業概要【eスポーツ等デジタルコンテンツを活用した生涯活躍のまちづくり事業】

推進当初

申請者	愛知県安城市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	53,474千円 (5,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・eスポーツ等デジタルコンテンツを高齢者の介護予防や健康寿命延伸などに活用し、生涯にわたり健康で幸せに暮らし続けられるまちづくりを推進する ・若年層（主に小・中学生）に対してeスポーツを通してデジタルツール利活用場の創出し、次世代のデジタル人材育成を推進する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○高齢者の介護予防・健康寿命延伸や、デジタル人材育成を目的とした活動 ・デジタルコンテンツ活用推進（委託料）3,300千円 ・高齢者向けのデジタル活用支援（委託料）2,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①イベント・講演会等の参加者数（オンライン参加含む） （+1,600人） ②イベント・講演会等の開催回数 （+123回） ③要介護認定率の減少割合 （▲0.4%）		関連URL https://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/joreikeikaku/sogokeikaku/sougoukeikakusingikai.html

事業概要【eスポーツを活用した地域活性化事業】

推進当初

申請者	愛知県西尾市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	70,070千円（35,090千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	まちづくり分野
目的（効果）	・スポーツツーリズムの推進による、新たな来訪目的の創出を図る ・eスポーツイベントの開催を通じて、eスポーツチームやeスポーツプレイヤーの誘致、観覧者等の誘導に繋げ、関係人口の拡大と滞在時間の延長を図る ・eスポーツはユニバーサルスポーツでもあることから、多文化交流、多世代交流を推進させるとともに、障がい者の活躍の場の創出を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企画及び実施計画の策定（委託料）3,300千円 ・関係各所との協議、調整 ・参加者に対するアンケート調査等事業効果の分析など ○実証ワークショップの開催（委託料）2,200千円 ・多文化交流プログラム、健康増進プログラムなどの運営 ・IP使用、広報宣伝など ○eスポーツ大会開催運営（委託料）29,590千円 ・eスポーツ大会会場設営 ・eスポーツ大会運営 ・映像、音響、オンライン配信など		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①eスポーツイベント・大会の参加者数（+1,000人） ②eスポーツ実施グループ・団体数（+10団体） ③eスポーツプログラム（講座、体験会、ワークショップ）開催回数（+30回） ④eスポーツプログラムへの高齢者・障害者・外国人の参加者数（+180人）	関連URL	https://www.city.nishio.aichi.jp/s-hisei/keikaku/1001515/1003264.html

事業概要【新しい働き方を通じた関係人口創出・移住者拡大事業】

推進当初

申請者	愛知県蒲郡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	15,352千円 (2,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	地理的優位性や地域資源など本市の強みを活かし、次世代のまちづくりの担い手である若者の視点も含めた二拠点居住やワーケーションなど新たな住み方、働き方を主軸とした戦略を構築するとともに関係・交流人口の拡大、二拠点居住の促進、移住者の拡大を図る。「住む場所」、「働く場所」、「訪れる場所」として、選ばれる地域となるよう、関係人口の創出、移住者の増加及び定住を促進し、活力ある地域づくりを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○受入体制整備促進事業 オンライン相談やSNSでの相談を継続するとともに、地域一丸となった移住希望者への支援体制を確立するために人材や店舗、移住経験者などが本市の暮らしを伝え、移住候補者へ相談にのるなど移住関係事業を協力いただける個人の方や店舗の制度である「移住定住促進サポーター」（仮称）を創設し、官民連携で事業を展開する。 《経費内訳》 (1)受入体制整備促進委託料 2,500千円 （オンライン相談、SNS相談体制整備、移住サポーター（仮称）制度の創設等）		
KPI	①移住者数（+91人） ②首都圏での蒲郡市の認知度（+2.3%） ③「移住定住促進サポーター」（仮称）の登録者数（+10人） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.gamagori.lg.jp/site/iijangamagori/ （効果検証） https://www.city.gamagori.lg.jp/unit/kikaku/sougou-senryaku01.html

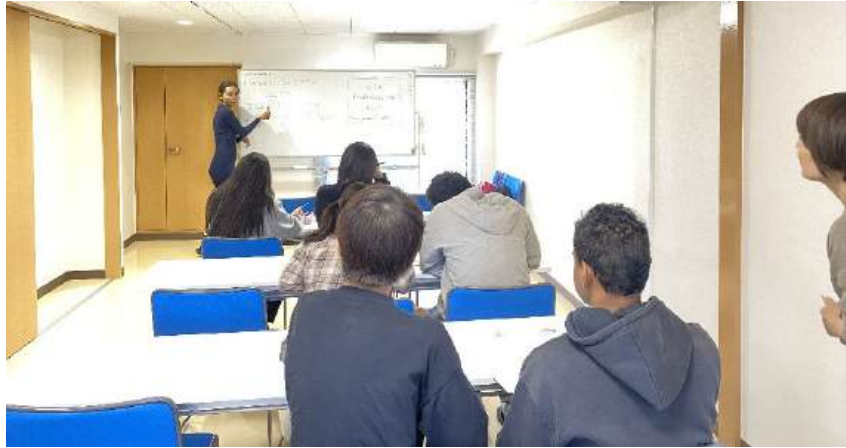


事業概要【地域の課題を地域主体のグルメ開発で解決していくまちの元気創出事業】

推進当初

申請者	愛知県稲沢市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	18,000千円 (5,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	本市には、多くの地域資源があるにもかかわらず、それらの活用が不十分であるため、市の認知度不足、観光入込客数・市内での観光消費額の低迷に繋がっている。これらの課題を解決するため「稲沢市ご当地グルメ」の開発により、「食」をフックとした観光事業を展開し、地域の新たな魅力を創出することで稲沢市の認知度・ブランドイメージの向上を図るとともに、観光客及び観光消費額の増、地域や地場産業の活性化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○稲沢市ご当地グルメの周知及び拡大 実施店舗を回遊させるグルメラリー、実施店舗が一堂に会するグルメイベントを開催するとともに、市外のイベントへも出張出店し、開発されたご当地グルメのPRを行う。 ・各店舗のメニュー開発及び販売のPR等〈500千円〉 ・イベントの開催及び出張出店〈1,500千円〉 ・グルメラリーの開催〈1,000千円〉 ○シティプロモーションの推進 Web特設サイトの特集ページの更新を引き続き行うとともに、より効果的なPR方法を検討する。 ・Webサイト・特集ページの制作、Web広告〈1,067千円〉 ・Web広告〈495千円〉 ・デジタルサイネージコンテンツ作成〈31千円〉 ・効果検証にかかる調査費〈154千円〉 ・コンサルティング等全体管理費〈253千円〉 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①“ご当地グルメ”関連イベント参加者数（+4,000人） ②“ご当地グルメ”関連イベント参加飲食店数（+10店） ③市内観光消費額（一人当たり）（+757円） ④シティプロモーション特設サイトセッション数（+11,553件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.inazawa.aichi.jp/0000003928.html （効果検証） https://www.city.inazawa.aichi.jp/0000001627.html

事業概要【地方創生と脱炭素の好循環による地方創生SDGs推進プロジェクト】 推進当初

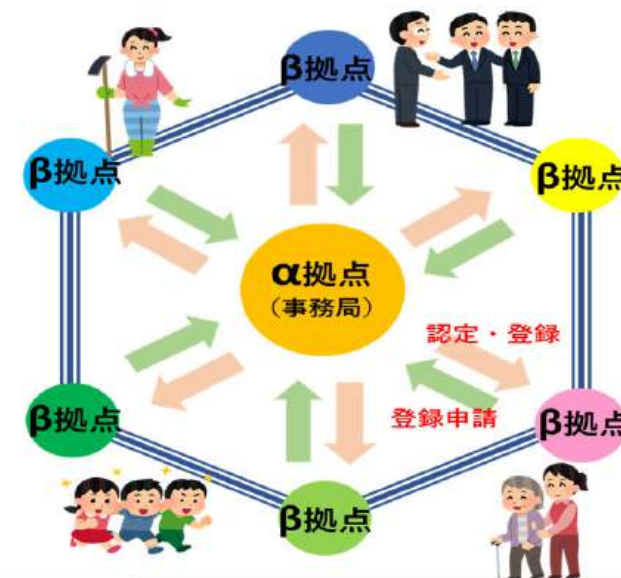
申請者	愛知県知立市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,700千円 (15,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・①脱炭素化の推進による、環境にやさしいまちづくりの加速化 ・②新たな外国人雇用の創出等による、雇用の安定化 ・上記①②の実現により、「地方創生と脱炭素の好循環」を生み出すことのできる、地方創生SDGsを推進する地域像の実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○外国人の雇用の安定化に向けた日本語教室を実施 ・開催委託料5,000千円 ○やさしい日本語を普及啓発するセミナーを開催 ・開催委託料100千円 ○SDGsを普及啓発するためのイベントを開催 ・開催委託料10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本市が所有する全ての施設から排出されるCO2排出量 (-442.80.2t-CO2) ②地域新電力会社の販売電力の地産率 (+83.3%) ③日本語教室参加者数 (+1,125人) ④就職率 (+15.0%)	関連URL	https://www.city.chiryu.aichi.jp/soshiki/kikaku/kikakuseisaku/gyomu/kouhukin_kikaku/1494828266764.html

申請者	愛知県田原市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	61,672千円(16,189千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・「伊良湖温泉」を活用したウェルネスツーリズムによる交流人口・関係人口の増加及び地域経済の活性化を図る ・地域特産品のブランド化及び地域ブランド力の向上による地域間競争力の強化 ・地域経済活性のための「しごと」の情報発信とマッチング体制の強化を図る ・サーフィン移住だけではない総合的な移住相談体制の構築による移住・定住者の増加		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○伊良湖温泉を活用したウェルネスツーリズムの推進による交流人口増加・観光地域づくり推進 ・公式ガイドブック印刷（印刷製本費） 3,278千円 ○地域特産品の更なるブランド化・人材の育成・地域ブランド力の向上 ・ニーズ調査及び手法の検討業務（委託料） 2,000千円 ○「しごと面の情報発信」と、「ひと」と「しごと」とのマッチング ・企業フェアの開催（委託料） 1,500千円 ○サーフィン移住だけでない「しごと」面の相談と合わせた総合的な移住相談体制の構築 ・定住移住施策PR業務（委託料） 3,800千円  大都市圏の移住フェアへの出展  公式ガイドブックの印刷		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ウェルネスツーリズムへの参加者数（+20,000人） ②たはら暮らし定住・移住サポーター制度を活用した移住・居住数（+46人） ③道の駅における渥美半島たはらブランド認定品売上額（+10,000千円）	関連URL	https://www.city.tahara.aichi.jp/seisaku/kakushukeikaku/1003022/1003057.html

事業概要【この指とまれ！ 弥富の人・情報・想いをつなぐ “YTM.Meeting : ヤトミーティング” プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県弥富市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	14,730千円 (5,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	多様な主体の交流とあらゆる情報や資源の共有を市民協働により推進し、「市民が何かに困った時」、「何かを頑張ろうと思った時」に時間や場所、年齢や性別、置かれている境遇などに関わらず、誰もが活路と活躍の機会を見出せるまちの実現に向けて取り組み、人と人がつながることで安心感や賑わいを醸成し、ずっと住み続けたいと思う住民を増やしていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域資源バンク制度の構築・運用 ・ウェブサイトの運用・保守管理 (委託料) 800千円 ○α拠点の設置・運用 ・α拠点の本格運用 (委託料) 2,100千円 ○市民との協働による検討・活動の推進 ・弥富市地方創生事業プロジェクト会議 (通称：YTM.Meeting) の運営 (委託料) 1,100千円 ・調査研究活動、情報発信事業の実施支援 (委託料) 1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①α拠点が仲介して、市民の相談事が解決に繋がった件数 (+60件) ②α拠点が仲介して、β拠点同士が連携した件数 (+24件) ③地域資源バンクの登録件数 (+100件) ④YTM.Meetingプロジェクトに参画・参加する市民の人数 (+15人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 令和6年6月公表予定 (効果検証) https://www.city.yatomi.lg.jp/shisei/1000749/1000763/1002378/1002379.html



事業概要【高齢者等の移動支援とおでかけ促進を一体的に促進する「チョイソコふそう」事業】

推進当初

申請者	愛知県扶桑町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	51,626千円 (4,642千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	町内に路線バスが運行しておらず、日常生活における移動の不便さを感じている住民が一定数あり、交通の利便性を高めていくことが課題であるため、新たに地域公共交通サービスを導入し、住民が安心して快適に暮らすことができる活力あるまちづくりを目指す。またデジタルに不慣れな高齢者に対してデジタルへの接触機会を増やすことで、誰一人取り残されずデジタルのメリットを享受できる持続可能な強靱性のあるまちづくりを目指していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	「チョイソコふそう」運行事業 ○会員・スポンサー事業者の増加を図るためのパンフレット、停留所マップ及び外出促進のための情報を発信する「チョイソコ通信」制作・印刷費 4,246千円 高齢者向けスマホ講座開催事業 ○デジタル活用・チョイソコのインターネット予約促進のためのスマホ講座開催に係る費用 396千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「チョイソコふそう」の年間利用者数（+11,880人） ②スポンサー事業者数（+50者）	関連URL	（事業概要・実施体制） https://www.town.fuso.lg.jp/kurashi/1003056/1003222.html （交付金の使途・効果検証） https://www.town.fuso.lg.jp/chousei/1002205/1002563/1004135.html



事業概要【アプリを使った選ばれるまちづくりプロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県南知多町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	16,688千円 (3,571千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・住民などからアプリによる情報提供で迅速な現状把握が可能となり、対応に移りやすくなる。 ・まちづくり団体との協働で、安全安心な地域づくりにつながる。 ・まちづくり団体が地域紹介や相談を受けることで移住者に選ばれるまちとなる。 人口減少で危険空き家が増加しており、空き家対策にもつながる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○アプリを利用した情報収集 アプリを利用して、町内の改善箇所などまちづくり団体などから広く意見を募集し、よりよい選ばれる町を実現する。 LINE公式アカウント使用料 0千円 ○まちづくり移住定住関係補助金 各まちづくり団体が収益事業を実施し自主財源確保に努める。そのための運営や事業活動に対し補助を実施する。それにより、地域の魅力向上につなげ、移住者から選ばれる町にする。 運営及び事業に対する補助金 3,571千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①情報提供に対する対応件数（+150件） ②まちづくり団体における事業件数（+15件） ③移住者数（空き家バンク利用）（+60人）	関連URL	https://www.town.minamichita.lg.jp/gyosei/keikaku/1003211/1003227/index.html

事業概要【外国企業誘致促進によるビジネスイノベーション加速化事業】

推進当初

申請者	愛知県、名古屋市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	74,100千円 (24,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	愛知県、名古屋市、地域の中小企業支援機関及び大学を構成員とする（コンソーシアム）を組織し、外国企業等に対する当地域への進出促進支援を行う。さらに、外国企業と地域企業等のオープンイノベーションを促進するため、当地域の企業や、大学、研究機関とのマッチング等の場を提供することで、当地域の経済力や魅力向上を図っていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM」において、外国企業等の進出の動機付けから定着支援までの外国企業誘致事業を一気通貫で推進する。 ・事業統括マネージャーの配置によるコンソーシアムの運営、セミナーの開催（負担金）2,200千円 ・進出有望な外国企業等の伴走支援、招へい（負担金）12,300千円 ・外国企業等と地域企業とのマッチングによるオープンイノベーションの促進（負担金）10,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当事業を通じて愛知県・名古屋市へ進出した外国企業等の進出件数（+12社） ②当事業を通じて愛知県・名古屋市への進出意向が高まった外国企業等の数（+18社） ③セミナーや商談会への参加者数（+360人） ④外国企業誘致ウェブページ(県・市)の総閲覧数（+10,800件）	関連URL	https://www.pref.aichi.jp/ricchitsusho/en/ https://nagoya-potential.jp/en/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html



事業概要【東三河スポーツツーリズム ブランド力強化プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県ほか 8 自治体※	初回採択回	令和 5 年度第 1 回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	94,096千円 (34,699千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	「東三河振興ビジョン2030」において東三河の観光の重点資源と位置付ける、「食」、「花」、「炎」、「美・癒し」、「歴史」といった資源とアウトドアスポーツを融合させ、来訪者のターゲットに応じた誘客促進や、東三河周辺地域との多様かつ広域的なネットワークの構築などにより、広域観光エリアとしての魅力を向上させ、「東三河スポーツツーリズム」のブランドイメージの確立を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「東三河スポーツツーリズム」のブランドイメージの確立 ・広域周遊イベントの開催（委託費）7,508千円 ・アウトドアブランドによる情報発信（負担金）3,234千円 ・インフルエンサーを起用した情報発信及びイベントの実施（委託費）7,532千円 ○地域資源の高付加価値化・受入体制の更なる強化 ・水辺利用の可能性調査等（委託費等）2,933千円 ・外国語版サイクリングマップの作成（委託費等）410千円 ・地元ガイドの育成（委託費）800千円 ○広域周遊ルート等の受入環境整備 ・サイクリスト受入拠点施設への備品・看板等の設置（購入費等）1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①東三河地域の観光入込客数（+5,703.8千人） ②東三河地域の宿泊者数（+750.5千人） ③東三河地域の道の駅の売上額（+660.44百万円） ④東三河スポーツツーリズムウェブページ「Outdoor Route」アクセス件数（+5,930件）	関連URL	https://www.higashimikawa.jp/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html



※愛知県、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村 の広域連携事業

事業概要【愛知の産業を支える中小企業の企業力強化プロジェクト】

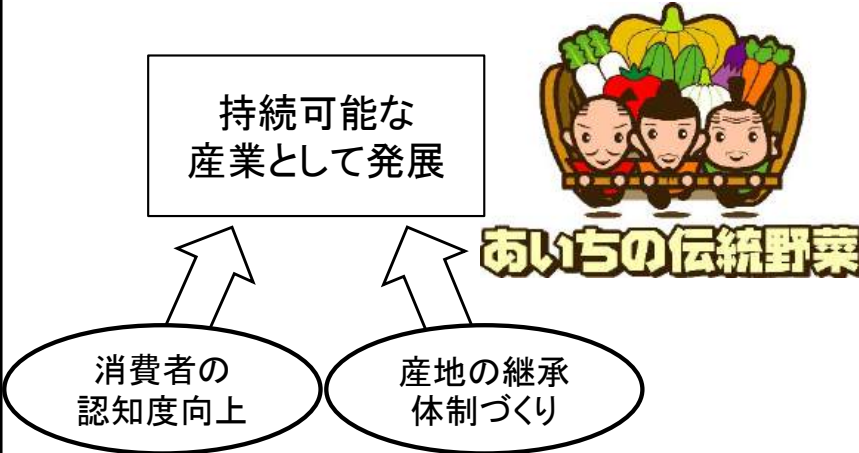
推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	188,846千円 (64,060千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	愛知型成長モデルの礎である中小・小規模企業が、経済環境が変化する中でも今後も本県の産業競争力の源泉として成長できるよう総合的な支援を実施することで、愛知型成長モデルの進化を図り、日本経済を牽引する国際イノベーション都市づくりを目指していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○第4次産業革命への対応として、中小企業等に対する情報セキュリティ診断、改善提案、アドバイザーの設置及びセミナーの開催などを実施する。(委託料) 19,734千円 ○カーボンニュートラルへの対応として、中小企業の脱炭素経営 (SBT認定取得) の支援などを実施する。(委託料、事務費) 13,006千円 ○飲食事業者の新展開支援として、東三河キッチンカーのWebサイトを活用し、イベント情報の共有などを実施する。(委託料) 3,418千円 ○中小企業等の人材確保として、中小企業を対象に採用活動の支援などを実施する。(委託料等) 18,144千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業における商談数 (+30件) ②本事業によりSBT認定を取得した企業数 (+15企業) ③キッチンカーコミュニティに登録した事業者数 (+70企業) ④採用支援セミナーへの参加企業数 (+150事業者)		
	   情報セキュリティ診断にて自社の現状を把握しましょう 情報セキュリティ診断のロードマップ 診断結果確認、現状把握 情報セキュリティの現状を把握し、改善点を確認する。 対策検討 診断結果に基づき、対策を検討する。 診断結果の確定 診断結果を確認し、確定する。 一次診断 「貴社の情報セキュリティ診断、現状把握、対策に向けた情報提供」を実施いたします ※県庁・県庁外事業所等での実施も可能		
	関連URL	https://www.pref.aichi.jp/press-release/aichi-pref-iot/security-diagnosis2023.html https://www.pref.aichi.jp/press-release/supplier2023-3.html https://daisukitchencars.com https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html	

事業概要【スタートアップ・エコシステム形成促進プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	597,698千円（199,200千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	スタートアップ創出、ユニコーン企業創出を起爆剤とする絶え間ないイノベーション創出を加速させ、日本経済を牽引する国際イノベーション都市づくりを目指していくとともに、地域の産業界、経済界、金融界、大学はじめ研究教育機関、各種支援機関など、全ての関係者、協力者が一丸となって、スタートアップ・エコシステムの形成を目指していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ユニコーン企業の創出 ユニコーン企業創出に向けたディープテック系スタートアップへの総合的な支援（委託料）140,452千円 ○スタートアップ・エコシステムを支える人材の呼び込み・マッチング 学生・社会人などの参加者のステージに応じた起業家の発掘、育成プログラムの開催など（委託料）58,748千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業により支援したスタートアップの資金調達額（投資、融資、補助金、契約額等）（+3億円） ②大学生、社会人向けスタートアップ創出プログラムにより起業につながった件数（+125件） ③人材プールへの登録件数（+150件）	関連URL	https://www.aichi-startup.jp/packages/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

申請者	愛知県	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	15,474千円 (5,388千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	地域資源の伝統野菜をブランディングし高付加価値化するとともに、生産者、消費者及び実需者があいちの伝統野菜の魅力を再発見することにより、担い手が将来にわたって意欲的に農業に取り組める環境を創り上げ、新たな価値を生み出し続ける産業へと発展させ、持続可能なまちづくりを創造する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○伝統野菜の特徴、出荷状況、購入可能店舗等の消費者が関心をもつ情報の発信や、技術継承などを行う。（委託料、事務費）5,388千円 ・消費者の認知度向上に向けた、産地情報の収集と発信 ・消費者の認知度向上に向けたレシピ開発、商品開発検討、イベント等の実施 ・継承体制づくり 栽培技術の継承に向けた講習会等の実施 ・伝統野菜種子の保存		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①あいちの伝統野菜生産者数（+92人） ②事業で実施した講習会の参加者数（+700人） ③伝統野菜をPRする県WebページのPV数（+1,000PV）	持続可能な 産業として発展  消費者の 認知度向上 産地の継承 体制づくり あいちの伝統野菜	あいちの伝統野菜WEBページ https://www.pref.aichi.jp/engei/dentoyasai/index.html 関連URL https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要【子どもから大人まで「人」を育むまちづくり】

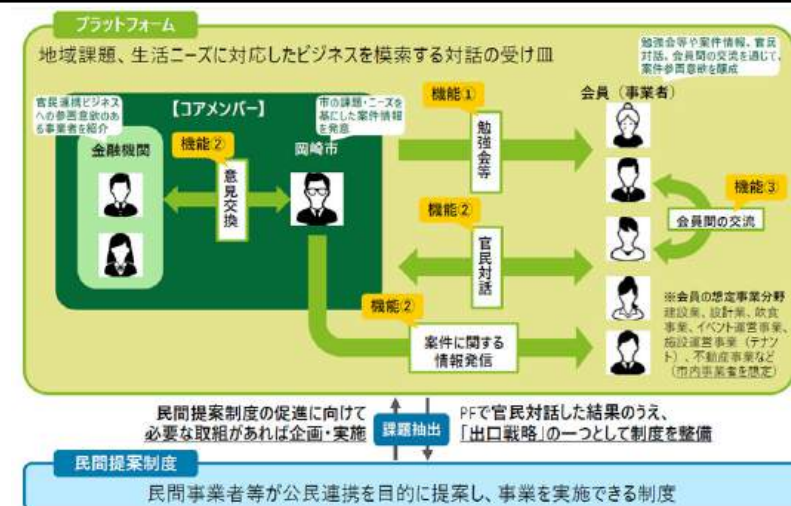
推進当初

申請者	愛知県豊橋市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,626千円 (9,170千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・本事業で女性就業者数を増やすとともに、人材育成研修等参加者数の増加を通じて、仕事と家庭が両立でき、男女が働きやすいまちを目指し労働人口の確保を図る。 ・地域の特長、強みを活かした多様な産業人材を育成・確保していくことで、新たなビジネスモデル創出により、市内企業を中心とした産業における競争力の維持・発展を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	◆ 子どもの「あそび場・まなび場」の拡充 子育て世代同士が交流でき、子どもが遊び、親が学べる場所を整備することで、安心して子どもを育てる環境を構築する。（消耗品費50千円） ◆ 家事支援サービスを活用した子育て家庭負担軽減モデル実証 1歳未満児を育てているすべての家庭が気軽に家事代行サービスが利用できる環境を整備する。（委託費9,120千円） ◆ リスキングを含めた学びなおしができるサービスの実証 女性を含めた企業や個人が、学びなおしを通じて成長するために必要なカリキュラム等の調査を行い、地域のステークホルダーである大学や企業と連携し、情報発信やプラットフォームの形成、サービス提供を行う。（市単独事業）  ← 乳児期家事支援事業 （1回500円で家事代行サービスが利用可能）  → （リスキングのイメージ） 中小企業の方などを対象に、DXなどを内容とした研修受講を支援		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①女性就業者数（+500人） ②産業人材育成事業参加者数（+2,000人） ③新たなビジネスモデル創出に関する事業への参加者数（+250人） ④リスキングを含めた学びなおしプラットフォーム（仮称）参加数（+5件）	関連URL	https://www.city.toyohashi.lg.jp/57222.htm

事業概要【SDGs公民連携プラットフォーム公民連携相互提案制度の構築・運用事業】

推進当初

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	16,612千円 (6,030千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・公民連携の担い手創出 ・分野横断的な課題解決に向けた仕組みづくり ・公民連携に取り組む公民及び民間事業者同士の交流の場づくり		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○SDGs公民連携プラットフォームの構築（委託料）3,230千円 ・民間事業者へのサウンディング・セミナーの実施及びその他の交流手法の実証 ○公民連携相互提案制度の構築（委託料）1,800千円 ・フリー型の事業募集実施 ・事業募集から事業構築までのスキームの課題整理 ○公民連携制度及び公民連携事業の情報発信・普及啓発（委託料）1,000千円 ・マッチングWEBサイトでの情報発信 ・分野別のプラットフォーム・セミナーでの情報発信		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①SDGs 公民連携プラットフォームの参加者数（+35者） ②公民連携相互提案制度の参加者数（+6者） ③公民連携相互提案制度のフリー型で提案された事業の件数（+2件） ④公民連携相互提案制度による新規事業の創出件数（+3件）	関連URL	https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1319/p019877.html



事業概要【文化と伝統・まちなかのRe-ブランディングによるエリアの価値向上】

推進当初

申請者	愛知県一宮市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	187,371千円 (76,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	- 本市の基幹産業である尾州テキスタイルのブランド力向上のためのイベント開催 - 関係人口の創出を目的とした国際芸術祭「あいち2022」のレガシーを活用したアートイベントなどを展開 - 上記の2点の関連イベントを開催し、中心市街地に若者や女性などを呼び込む		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	▶ 「アート」・「尾州」をキーワードに、三つの視点により「芸術を切り口とした仕掛けと歴史の再認識による新たな関係人口の創出」、「『尾州 (BISHU)』ブランド力向上による産業の振興」、「民と官の連携と共鳴による活力ある中心市街地への再生」を目指す「Ito (Ichinomiya to ...) Project」を実施する。 ◆ Ichinomiya to Art【一宮×芸術】 芸術を切り口としたイベント - まちなかでのアートイベント (ワークショップ委託料ほか：6,000千円) ◆ Ichinomiya to Bishu【一宮×尾州】 尾州ブランドを活用したイベント - 尾州ブランドを活用した総合イベント「BISHU FES.」(負担金：26,500千円) ◆ Ichinomiya to Cross【一宮×芸術×尾州×…】 - 中心市街地への人の呼び込みの事業 (上記の事業の関連イベント) - まちなかウォーカブル推進事業 (委託料：22,000千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業で実施したイベントの参加者数 (+34,000人) ②いちのみや応援寄附金の寄附件数 (+220件) ③株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査」認知度 (+8.40点) ④一宮駅周辺地区の居住人口 (+242人)	関連URL	(効果検証) https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/sougouseisaku/seisaku/1044355/1010163/1004163.html (令和6年9月公表予定)



◀ BISHU FES.
(令和5年11月)



まちなかウォーカブル▶
(令和5年11月)

事業概要【農業起点の地域プラットフォーム創出による交流活性化事業】

推進当初

申請者	愛知県半田市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	10,692千円 (4,035千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・市内農家の経営基盤強化と地域全体の農業価値の向上を図る ・地域プラットフォームの構築により、農家・事業者・消費者間での交流の活性化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域に農家が集まれるつながりを複数構築し、地域の創出性を高める ・農業マルシェ等支援業務（委託料）1,145千円 ○農家の個力を向上させ、地域プロデュースの視点を持った農家を創出する ・農業人材育成研修等費用（研修講師謝礼等）30千円 ○個々の農家の販路拡大による経営基盤の強化を図る ・販路拡大等支援業務（委託料）2,784千円	 (農業マルシェの様子)	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規就農者数（+8人） ②農業マルシェ開催数（+12回） ③農業マルシェの農業者参加者数（+110人） ④農業マルシェの来場者数（+5,000人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html

事業概要【地域資源の磨き上げによる関係人口・交流人口創出とシビックプライド醸成事業】

推進当初

申請者	愛知県豊川市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	175,896千円 (52,418千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・地域資源の魅力の再発見及び地域資源を生かした着地型観光等の推進・PRにより関係人口・交流人口の創出を図る ・継続的な地域ブランドの創出・PR及び市内イベント等の実施により、シビックプライドの醸成及び地域経済の活性化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域の企業や団体と連携した通年にかかるイベント等の開催による誘客促進 ・誘客促進イベント開催 (補助費) 20,000千円 ○スポーツ・文化活動の合宿での来訪者及びインバウンド等をターゲットとした着地型観光の推進 ・合宿支援 (委託料) 4,046千円 ・受け入れ環境整備 (負担金) 200千円 ○地域ブランドをはじめとする地域資源の磨き上げ及び市民等と連携した地域資源のPR ・市民等と連携した地域資源の磨き上げ及びPR (委託料等) 20,108千円 ○地域独自の新たな「稼ぐ力」を創出するため、創業や販路拡大に向けた支援の実施 ・創業・新事業創出機運醸成等イベント開催 (委託料) 5,564千円 ・創業・販路拡大支援 (補助金) 2,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① イベント延べ参加者数 (+108,491人) ② 市民の地元愛着度 (+7.9%) ③ SNS登録数 (+4,418人) ④ 年間観光入込客数 (+292万人)	関連URL	https://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/matihitosigoto/matihitotorikumi.html

事業概要【官民連携による津島天王通り・ウォークブルストリートプロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県津島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	73,315千円 (25,575千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	天王通り周辺エリアに恒常的な賑わいを創出するために、以下の目標に対して多角的にアプローチする。 エリアの来街者の増加を促す。 エリアの空き家・空き店舗の状況を把握し、必要に応じて利活用する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	空き家・空き店舗・空き地利活用事業（有識者を中心としたワークショップ等開催経費）4,000千円（委託料） 空き家・空き店舗・リノベーション関連事業経費 7,921千円（委託料・補助金） 賑わい創出事業（エリア全体の集客に結びつく各種イベント開催経費）4,257千円（委託料） I C T利活用事業 4,843千円（委託料） アンテナショップ開設事業 3,827千円（委託料） 空き家・空き地情報プラットフォームの検討・設立 727千円（委託料）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①エリアへの新規出店店舗数（+6店） ②エリアの来街者数（+2,250人） ③エリアが賑わってきていると回答した事業者の割合（+35%）	関連URL	令和6年8月頃公表予定

事業概要【新たな地域資源を活用した観光振興事業】

推進当初

申請者	愛知県安城市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	98,422千円 (34,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・リニア中央新幹線の開業により東京から60分圏域となることで、観光交流の増大が見込まれるため、魅力的な新コンテンツを活用してさらなる観光振興を図り、安定した雇用の維持を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新たな地域資源となりうるコンテンツを活用したシティプロモーションの実施 ・シティプロモーションの推進（委託料）10,000千円 ・観光協会の支援（補助金）10,000千円 ○スポーツを活用したイベント等の実施 ・新たな地域資源を活用したイベント等の実施（委託料）5,000千円 ・ホームチームを活用したイベント等の実施（委託料）6,000千円 ○魅力的な地域資源をつなぐ、シェアサイクルの活用 ・シェアサイクルの管理（委託料）3,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+300,000人） ②シェアサイクル利用者数（+5,100人） ③市主要スポーツ事業参加者数（+78,260人）	関連URL	https://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/joreikeikaku/sogokeikaku/sougoukeikakusingikai.html



申請者	愛知県安城市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	117,080千円 (43,704千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・共創パートナー制度の運用 ・高校生の参画 ・公民連携のまちの賑わい創出		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○共創パートナー制度による公民連携の強化 ・共創パートナー制度及び未来会議の運営（委託料）6,000千円 ・ポータルサイトによる情報発信（委託料）2,000千円 ・公民連携による行政課題解決（委託料）6,000千円 ○公民連携によるまちの賑わい創出 ・まちづくり推進団体の検討（委託料）5,000千円 ・多目的交流拠点運営に係る検討（委託料）24,000千円 ・みらいを考える講演会、フォーラム（報償費、使用料）704千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①公民連携による社会課題解決のための事業数（+14事業） ②共創パートナー参画団体数（+90団体） ③企業取材の企画・運営・記事投稿に関わる高校生の数（+40人）	関連URL	https://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/joreikeikaku/sogokeikaku/sougoukeikakusingikai.html

事業概要【デジタルマーケティングによる観光プロモーション事業】

推進当初

申請者	愛知県西尾市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	84,000千円（30,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・動画広告配信により、特産品等の本市の魅力を国内外に対してPRすることで、より一層の観光誘客を図る ・動画広告配信で得られた視聴者の属性データを刈り取り、観光PR事業へのフィードバックを図る ・市場ニーズやターゲット調査等を行い、プロモーション施策の精度を高めることで、効果的で効率的なPRを図る ・サインやガイドブックなどの多言語化を推進し、受入環境の充実を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○EBPM（根拠に基づいた政策）による観光プロモーション業務（委託料）14,300千円 ・2023年度事業で得られたデータやリサーチ結果を反映したターゲティングとボトルネック調査 ・国内向け、海外向けの動画制作と動画広告配信 ○EBPMによるツアー造成実証業務（委託料）13,500千円 ・国内旅行者向けのツアー造成 ・ツアー販促プロモーション ○ユニバーサルツーリズム推進業務（委託料）2,200千円 ・サインやガイドブックなどの多言語化など	  観光PR動画	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業で造成したツアーの参加者数・宿泊者数（+300人） ②SNS広告等からの本市観光ページへのリーチ数（+450件） ③YouTubeにおける動画再生回数（+30万回） ④首都圏における本市の認知度（+44%）	関連URL	https://www.city.nishio.aichi.jp/s-hisei/keikaku/1001515/1003264.html

事業概要【ウェルビーイングが実感できるまち「サーキュラーシティ」推進事業】

推進当初

申請者	愛知県蒲郡市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	66,216千円 (23,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	まち全体でサーキュラーシティの仕組みを構築するとともに、事業者がサーキュラーエコノミーに関連する新たな商品やサービスが創出されるよう後押しすることで新たな産業を創出する。また、市民や事業者などがサステナブルな意識や行動を地域全体で行うことで持続可能なサーキュラーシティを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○官民が連携した自立した組織を立ち上げに向けた最終段階として組織の整備を行うとともに、重点7分野に沿った本市におけるサーキュラーシティの社会実装の取組みを改善を加えながら深化させ定着化を図る。 ・社会実装及び事務局運営委託料 14,000千円 ○ショートピッチ、セミナー、ビジネスマッチングなどの開催。また、市民向けに市内事業者の取組み紹介や地域産業特性に沿った行動変容に繋がるイベントを開催する。 ・スタートアップ企業・新ビジネス創出事業 8,000千円 ・セミナー等開催委託料 1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サーキュラーエコノミーに取り組む企業数 (+28社) ②市民の幸福感 (+0.31/10) ③リサイクル率 (+6.3%) ④温室効果ガス排出量(▲50,000t-CO2)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.gamagori.lg.jp/site/circularcity/ (効果検証) https://www.city.gamagori.lg.jp/unit/kikaku/sougou-senryaku01.html



事業概要【次世代につなぐ地場産業活性化プロジェクト「G-Textile」】

推進当初

申請者	愛知県蒲郡市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	113,000千円 (56,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	繊維業界の若い職員が、最先端の技術者に触れ、一つの目的に向かって取り組むことで、事業所や業種の垣根を越えた繋がりや活力が生まれ、それを更に次の世代を担う若者に発信していくことで、好循環が生まれ、持続的で自発的な繊維産業の活性化及び地域経済への波及効果の創出を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○来場者が数万人規模のTGCでのステージを通して、市が独自開発した商品を発表するとともに、同時に視聴者が数百万人規模の実績を誇るTGCのライブ配信を通して全国の「若者」と「女性」にも情報発信することで、効果的なPRに繋げる。 ・TGC×蒲郡 地場産業活性化プロジェクト委員会(仮)運営負担金 55,000千円 ○ TGCでは、モデル等のSNSを通した全国への情報発信の機会創出も同時に図ることができる。 ・消耗品費 400千円 ・産地特産PR費 300千円 ・旅費 300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①首都圏における蒲郡市の認知度 (+1.3%) ②事業参画企業数 (+35社) ③本交付金事業を通して開発した商品の売上高(+2,050万円) ④事業参画企業における新規採用応募者数 (+60人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) http://www.yumeoribito.jp/newproject/ (効果検証) https://www.city.gamagori.lg.jp/unit/kikaku/sougou-senryaku01.html



事業概要【犬山は観光だけが魅力じゃない。住むまち犬山情報発信事業】

推進当初

申請者	愛知県犬山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	13,047千円 (5,538千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・「観光のまち」としてのイメージに加え、「住むまち」としてのイメージ醸成、認知度の向上 ・住むまちとしての情報発信による移住・定住促進、若年世代の社会移動改善 ・移住者及び定住者による本市での住みやすさ、生活の豊かさの発信によるまちの魅力の広がりの促進、持続可能なまちづくりの基盤形成		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○住むまち“いぬやま”PR支援事業 住むまちとしての本市の魅力を市内外問わず発信する ・移住特設webサイトの運営・拡充、ウェブ広告等（3,080千円） ・PR媒体作成料（2,288千円） ○移住・定住に関する情報をワンストップで提供し、個人に応じた相談業務を行う窓口の運営 ・首都圏での移住相談窓口設置に伴う登録料（50千円） ・移住フェア等での相談窓口出展料（120千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住定住相談窓口での相談件数（+55件） ②市公式YouTubeチャンネル「ONE CHAN」の登録者数（+645人） ③移住特設webサイトへの総アクセス数（+4,300回）	関連URL	（交付金の具体的用途） https://www.sumumachi-inuyama.jp/ （効果検証） https://www.city.inuyama.aichi.jp/shisei/keikaku/1005910/1008074/1004909/index.html

事業概要【江南市地域交流センター発「全世代・全員活躍のまち」推進事業】

推進当初

申請者	愛知県江南市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	130,081千円 (30,019千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・民間等事業者による市民活動支援、地域人材の育成、交流及び賑わいの創出など各種事業を一体的な展開による関係人口の拡大を図る ・全世代の市民の居場所、生きがいを見出し、まちの賑わい、住みやすさを創出する ・まちづくりに関わる主体の増加、育成により地域の担い手不足の解消を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○市民活動やボランティア活動、地域活動の担い手不足や活動資金不足などの課題を持つ団体に対しする相談支援 ○市民活動等の団体運営を効果的かつ効率的に行うための講座等の企画、実施 ○様々な機能が集約された複合公共施設の利を活かした交流の場づくりの企画、実施 ○駅前の複合公共施設という好条件を活かした施設内のデジタルサイネージを活用した市の魅力発信		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①江南市地域交流センターの利用者数 (+17,500人) ②当該事業により実施したイベント等行事の参加者数 (+1,512人) ③地域コミュニティの団体数 (+25団体) ④市が市民活動団体（NPO、地縁団体等）、民間等団体及び教育機関と連携して実施する事業の数 (+25件)		関連URL https://www.konan-koryu.jp

事業概要【SDGs人材育成プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県豊山町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	11,700千円 (1,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・住民、企業、行政が一丸となり、SDGsの理念を大切にする人材を育成するための施策を実施する。 ・環境SDGsを意識した行動の変容 ・主体的に考える人材の育成の育成 ・地域の課題やつながりを感じる機会の提供		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○コンポストを活用した体験型SDGs教育 委託料 650千円 ○SDGs人材教育 ・SDGsファシリテーター育成講座の開催 委託料 500千円 ・子ども向けワークショップの開催 委託料 150千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業の参加者による自主的な取組の提案件数 (+2件) ②堆肥の活用における連携先数 (+6件) ③SDGs指導者数 (+10人)	関連URL	調整中

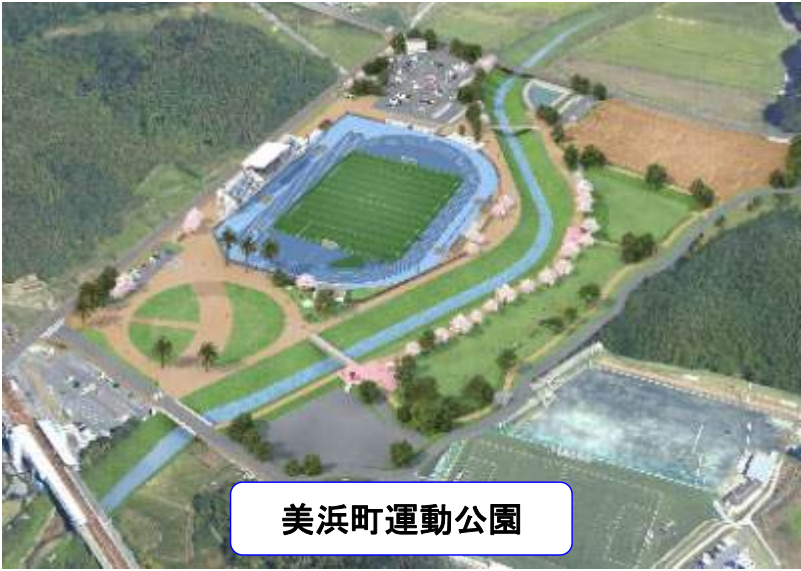
申請者	愛知県蟹江町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,684千円 (22,990千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・電子決済等各種デジタル策の導入による地域消費の活性化を図る ・「蟹江体験」活用し、町主催イベント及び民間イベント情報の一元化を図る ・デジタルを活用した周遊イベント等による地域活性化を図る ・ワークショップの実施によりデジタル技術活用を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	◆デジタル技術活用に関する町民ワークショップ ワークショップ開催費用等 (1,155千円) ◆事業者へのデジタル技術導入支援事業 事業者へのデジタル普及委託料 (6,050千円) ◆デジタルを活用した地域活性化事業 デジタル周遊マップ制作、関連事業開催費用等 (10,703千円) ◆「蟹江体験」事業におけるキャッシュレス決済導入促進 町内イベントのポータルサイト「蟹江体験」の実施費用、キャッシュレス決済促進の啓発資材作成費用等 (1,452千円) ◆事業周知費用等 事業の周知に係るSNS広告制作費等 (3,630千円)		 町民ワークショップ
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①町内商店での年間消費購買日数 (+22日) ②新規のデジタル技術活用導入事業者数 (+17社) ③町民ワークショップにおけるデジタル力底上げ実績 (+130人) ④「蟹江体験」事業掲載件数 (+200件)		関連 URL https://www.town.kanie.aichi.jp/soshiki/3/miryokukouzyou-kasseika.html

事業概要【阿久比スポーツ村を拠点とした賑わいと活気のあるまちづくり】

推進当初

申請者	愛知県阿久比町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	23,806千円 (7,523千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・老若男女が交流できるにぎわいと活気ある場づくり ・地元物産品のPRやマルシェなどを開催することで新しい人の流れの創出 ・まちの特性を活かしながら、更なる移住・定住の促進を図る ・多世代・多地域 参加交流型のまちづくりで、希薄化する地域の活力の維持と地域の枠組を超えた交流		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○魅力発信事業 公式Instagramや公式YOUTUBEなどの開設。写真や動画で若者世代への情報の発信強化。町民ひとりひとりが町の魅力の発信者となれるよう、SNSのスタートアップ講座を実施することで、地方創生の担い手としての期待と町のファンづくり（フォロワーの獲得）を同時に目指していく。（講師謝礼）30千円 ○魅力体験事業 特産物の販売やPRや安全・安心の地元農産物の消費拡大事業（補助金）2,000千円。地元の食材を活かした物販や食事の提供、広々とした自然の中でのワークショップやモルック等誰もが楽しめるスポーツを通じた出会いを創出する多世代参加交流型のマルシェの開催（補助金）500千円、前年度SNSで爆発的に話題となり町外から多くの観光客を集客したイルミネーション（灯籠）イベント（ワークショップを取り入れ参加者の体験をプラス）の開催（補助金）1,000千円 ○まちの魅力発信ブック作成 町内外に向け本町の魅力を伝えるツールとして新しいPRブックを作成する。本町の魅力や取り組みをPRすることで本町の認知度を向上させるとともに町民のシビックプライドを醸成する。更に、今まで実施できていなかった県内他自治体や県外へも積極的にPRすることでUIターン潜在者へ町の魅力を届け、実際に移住・定住へ繋がられるきっかけづくりを行う。（委託料）3,993千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スポーツ村利用者数（+14,000人） ②町HPのスポーツ村サイトへのアクセス数（+3,200件） ③本事業で実施したイベント参加者数（+2,700人）	関連URL	https://www.town.agui.lg.jp/



申請者	愛知県美浜町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	158,085千円 (44,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	取組の効果を最大限に引き出すためには我が町の特性を活かした推進体制で取り組むことが必要不可欠であり、行政や住民、宿泊・飲食・観光事業者を始めとする産業、スポーツ科学部など様々な教育・研究分野を有する日本福祉大学、スポーツまちづくりに関する専門的な知見やノウハウを有する民間企業など「スポーツ」によって繋がれた者同士が一体となり、共通のビジョンを見据え、魅力と活気にあふれる輝く町となることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○住民向けプログラムの実証・確立 10,420千円 ○事業主体の組織（地域団体・スポーツコミッション（SC）の設立）、育成 21,150千円 ○アウター向けコンテンツの開発・実証 2,200千円 ○域外来訪者の受け入れ・おもてなし体制再構築に向けた企画立案・モニター調査、合宿・大会誘致に向けた営業活動 1,820千円 ○情報発信・「スポーツの町」のブランディングのための機運醸成事業 2,410千円 ※金額は税抜き		 美浜町運動公園
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業によって開発されたスポーツプログラム・コンテンツ等の参加者数 (+5,180人) ②NPS®による本町に魅力や愛着を感じている人の割合 (+60%) ③合宿・大会等による宿泊団体数 (+230件) ④本事業における大学生の参画人数 (+650人)		関連URL 調整中

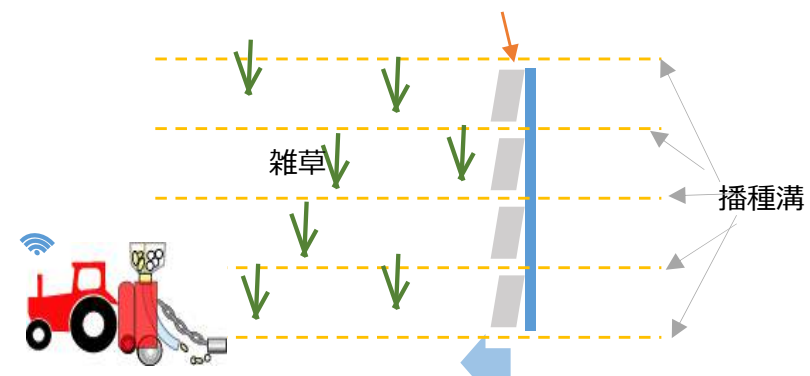
事業概要【あいちデジタルヘルスプロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,717,566千円 (318,598千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」が推進母体となり、プロジェクトの基本計画（2024年3月策定）に基づき、当地域においてヘルスケア分野のイノベーションエコシステムを形成し、ヘルスケア産業の振興と超高齢社会の課題解決の両立を目指していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1.未来技術を活用したヘルスケアサービス・ソリューションの社会実装 ・産学官連携による実証事業を実施（委託料）156,620千円 2.エコシステム形成に向けたパーソナルデータ連携基盤の構築 ・データ連携基盤の構築に向けた調査等を実施（委託料）77,205千円 3.デジタルヘルスサービスの社会実装促進に向けたユースケースづくり ・ユースケースづくりに向けた実証と横展開を実施（委託料）45,075千円 4.「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」の活動を通じたエコシステムの形成 ・コンソーシアムの運営及び各種活動の実施（委託料）39,698千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数 (+130千人) ②STATION Aiへのヘルスケア関連企業・団体の入居数 (+65企業・団体) ③本事業を通じて社会実装されたヘルスケアサービスの件数 (+24件) ④本事業を通じてフレイルの早期発見につながった件数 (+1,426件)		関連URL https://www.pref.aichi.jp/soshiki/innovation-kikaku/aichi-dhc.html https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要【農業の生産現場におけるDX・GX活用促進プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	184,001千円 (62,087千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	農業分野の課題解決に向け、ものづくり県としての本県の強みを生かし、戦略性をもった生産現場のDX・GX化を進める。生産現場の最前線における分野横断的な取組によるテクノロジー活用の強化や、有機農作物の需要拡大に対応する超省力化・超低コスト体系の構築など、持続可能な農業生産の実現とともに、機動性を高めた生産現場での変革を創出することで、本県の農業の一層の発展につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○実際の農業者の生産現場において、それぞれの生産現場の課題に対応したデジタル技術等の活用・改良・実装を行い、その過程を通じて県の新たな普及指導体制を構築、機動性を高めた生産現場発のイノベーション創出力を強化する。(委託料、事務費) 23,160千円 ○有機農作物の需要拡大を見据え、大規模・超省力有機栽培技術の開発を行うとともに、その持続可能性、経済性を検証する。(委託料、事務費、栽培管理機器) 38,927千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①愛知県における農林水産出荷額（農業）（+228億円） ②スマート農業技術の普及割合（+21.9%） ③有機農業取組面積（+90ha） ④雑草抑制技術の開発（+4件）	GPSで位置決めをし、物理的手段で除草する機械の実装  GPSトラクタによる不耕起V溝直播	関連URL https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要【あいちモビリティイノベーションプロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,224,460千円 (230,102千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・次世代の空モビリティであるドローン・空飛ぶクルマの早期社会実装や、次世代の空モビリティと陸モビリティである自動運転車が同時に安全に制御され、人やモノの移動が最適化された新しいモビリティ社会を実現し、物流クライシスや多様化する人の移動等の社会課題を解決する。 ・市場性、実現性等を考慮した革新的ビジネスモデルを構築し、それを国内外に横展開することで、空と陸の次世代モビリティの需要拡大を図る。 ・次世代モビリティの需要拡大を愛知県が取り入れ、産業創出に向けた環境整備やサプライチェーン構築を進めることで、雇用を創出するほか、次世代モビリティ産業を愛知県の基幹産業としていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1.物流用高ペイロードドローンの社会実装に向けた取組 ・社会実装に向けた実現可能性調査及び運営事業者の参入支援（委託料）91,759千円 2.空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組 ・空飛ぶクルマの社会実装に向けた事業適地の調査等の実施（委託料）60,520千円 3.地上空撮ドローンにより作成するデジタルマップの利活用 ・地上空撮ドローンにより作成するデジタルマップの利活用の検討（委託料）16,814千円 4.次世代モビリティの普及に向けた制度面・技術面での課題整理、社会受容性の向上 ・展示会出展等による社会受容性向上に向けた普及啓発（委託料）20,357千円 ・空モビリティ実装に向けた制度面等の課題の整理（委託料）21,671千円 5.次世代モビリティの基幹産業化に向けた取組 ・研究開発機能の強化やサプライチェーン構築に向けた調査（委託料）18,982千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+130千人） ②航空機・ロボット製造業従業者数（+1,110人） ③物流ドローンの導入機体数（+16件） ④空飛ぶクルマの運航便数（+270件）		関連URL https://a-idea.jp/soramichi/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,000千円 (3,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	農産物のブランド力を更に引き上げるため、地消地産の考えに基づく「岡崎ならではの」価値を付加した新たな特産品を農業者と地域関係者が協働で創出し、本市の交流拠点となる地域において特産品の魅力を発信することで、関係人口、交流人口を増加させ、地域の賑わいを創出するとともに、農産物の消費拡大を図り、農業所得を増加させ、持続可能な農業経営基盤の構築の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	ワイン特区を活かした純岡崎産のワイン、家康公健康寿命の秘訣の食・薬草等に関する地域資源を発掘し、本市の特産品とする食のブランディングを実施する。 【令和6年度実施内容】 1 地域資源発掘調査 1,000千円 2 家康めし等ブランディング 1,500千円 3 地域振興施策の調査検討 500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農産物出荷額 (+ 300千円) ②関係者、スマート農業実践者数(+ 6人・団体) ③家康めし等取扱店舗数 (+ 3店) ④家康めし等商品開発数 (+ 7点)	関連URL	https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1319/p019877.html



事業概要【半田市中心市街地活性化推進事業】

推進当初

申請者	愛知県半田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	328,209千円 (71,145千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・来街、活動の多様な目的にかなう場づくり・環境づくりを行い、中心市街地エリアの価値の向上を図る ・中心市街地に創業等の様々なチャレンジができる機会や場所を設け、まちづくりの担い手の育成を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「創造・連携・実践センター」を設置し、創業支援等のための環境整備や同センターを拠点とした人材育成を行う ・同センターの施設整備 (工事請負費) 19,000千円 ・同センターの指定管理 (委託料) 16,270千円 ○中心市街地エリア内の回遊性の向上のための取組を行う ・半田運河誘客スポットの設置 (委託料) 4,302千円 ・デジタルサイネージの活用業務 (委託料) 4,367千円 ○官民連携による中心市街地活性化に向けて、半田市中心市街地活性化協議会での合意形成をはかる ・同協議会運営費負担金 (負担金) 2,080千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口 (+63人) ②「創造・連携・実践センター」の利用者の創業件数 (+50件) ③「創造・連携・実践センター」の来館者数 (+9,900人) ④名鉄知多半田駅～半田運河周辺の流動人口 (平日) (+700人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html

事業概要【西尾未来共創拠点運営事業】

推進当初

申請者	愛知県西尾市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	93,403千円 (31,999千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・イノベーションの創出を通じた起業・創業支援を展開する。 ・製造業において、構造転換支援など事業の多角化を図る。 ・第3次産業の充実を図る。 ・各種事業支援の一元的・効果的な支援体制の構築を整備する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○西尾未来共創拠点の運営（中小企業の持続可能な経営並びに市内での起業、創業及び新産業創出を支援し、市内経済の活性化を図る） ・専門アドバイザー等の謝礼（謝礼）2,800千円 ・顧客管理システム運営管理（委託料）2,247千円 ・HP運営管理（委託料）1,500千円 ・市場分析業務（委託料）500千円 ・施設費（借上料）2,640千円 ・プロジェクター、スクリーン、音響設備等（備品費）1,000千円 ・事業者補助金（補助金）10,000千円 ○ビジネスプランコンテストの運営（西尾市の課題を解決し、地域をより活性化させる事業の創出と実装を目指すビジネスプランコンテストを開催） ビジネスプランコンテスト運営（委託料）7,840千円  西尾未来共創拠点イメージ図		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+120人） ②「西尾未来共創拠点」での事業相談数（+2,800件） ③「西尾未来共創拠点」を中心に行う市主催のビジネスプランコンテストのプラン提案数（+100件） ④「西尾未来共創拠点」で行う市主催のイベント数（+45件）	関連URL	https://www.city.nishio.aichi.jp/s/hisei/johokokai/1001564/1001641/1004679.html

申請者	愛知県田原市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	91,070千円（47,270千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・産出額日本一の「花」を活用したプロモーションを行うことで、地域ブランド力向上やまちの賑わいの創出を図る。 ・花、観光、定住・移住促進の取組を連動させたシティプロモーションを実施しシビックプライドの醸成を図る。 ・発信力の高いイベントを活用し、今後に繋がるデジタル実装による情報発信の活発化を図る。 ・菜の花の種まき体験等により、地域への愛着と誇りの醸成を図り若者の転出抑制につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域ブランド力向上のため、花をメインコンテンツとし有名プランナーとのコラボイベント、プロスポーツを活用したPR、体験型ツアー、マルシェ等を活用した情報発信やシティプロモーションの実施 ・イベント企画、開催費（委託費） 41,900千円 ・イベント用PR用品作成（印刷製本費） 770千円 ・マーケティング調査委託（委託費） 2,000千円 ・花のモニターツアー造成（委託費） 500千円 ○農業や地域への愛着と誇りの醸成を図るため、NPOによる遊休農地再生事業と連携し、子どもたちを対象とした菜の花の種まき体験の開催 ・菜の花畑作付け等委託費（委託費） 1,800千円 ・PR用マップ等作成（印刷製本費） 300千円	 日本一の花を活用 したブランディング	 イベントを活用したプロモーション  種まき体験による地域愛の醸成
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（+300人） ②ふるさと納税の花に関連する寄附金額（+20,315千円） ③菜の花エコサポーターの登録数（+30人）	関連URL	https://www.city.tahara.aichi.jp/seisaku/kakushukeikaku/1003022/1003057.html

事業概要【地域資源を活用したラーケーション推進による地域活性化事業】

推進当初

申請者	愛知県長久手市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	36,000千円 (12,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	愛知県において、令和5年度にスタートした「ラーケーションの日」を契機に、校外学習ニーズを市内に呼び込むことで、関係人口の増加や市内消費の活性化・観光振興を図ることができる。市内事業者が各々で体験プログラムを造成できるよう、環境整備を市が行い、市内事業者が主体となって新たな「ラーケーションスポット」を設けることができるよう支援していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ラーケーションに関する調査、計画策定、PR事業 ・調査、地域資源の掘り起こし 3,000千円 ・計画策定 3,000千円 ○市内事業者による体験プログラム造成事業 ・事業者同士の連携強化のための意見交換会、勉強会 3,000千円 ・体験プログラム造成、運営に関するアドバイザー設置 3,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+7.5億円) ②市内事業者（観光交流協会会員）による、新規体験プログラム数 (+15件) ③市内事業者（観光交流協会会員）による、新規体験プログラム参加者数 (+300人) ④観光交流協会HP閲覧数 (+2.5万回)	関連URL	https://www.city.nagakute.lg.jp/soshiki/shichokoshitsu/seisakuhishoka/2/2/matihitosigoto/index.html

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【愛知県スタートアップ支援拠点整備事業】

拠点当初

※PFI活用

申請者	愛知県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R6年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,125,344千円 (1,942,074千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分） ※R6年度はR5年度補正予算により早期執行	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	本県では、2018年度に「Aichi-Startup戦略」を策定して以来、スタートアップ・エコシステムの醸成につながる取組を急速に拡充してきた。2024年度には、日本最大のスタートアップ支援拠点である「STATION Ai」の整備を予定しており、運営開始後は、この拠点を中核として多くのスタートアップ関係者を巻き込み、引き続き本県が地域産業経済の競争力を維持・強化し産業の集積地として我が国の経済をけん引していくことを目指す。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	本施設の整備・運営手法として、民間事業者のノウハウや技術力等を最大限に活用することのできるPFIを導入する。 スタートアップ向けオフィス、実験や試作が可能なテック・ラボ機能等の他、会議室、イベントスペースなど、世界各地の主要スタートアップ支援施設が有する機能を設ける。PFI事業者によるビジネスマッチングや各種支援プログラム、県がMOUを締結し協力関係を構築している海外スタートアップ支援機関のスタートアップ支援サービス、グローバルな情報発信などのソフト事業をワンストップ・ワンルーフで提供するとともに、5G等の各種最先端技術を導入した施設・設備の整備や各種実証実験の場を提供する。		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①本施設における支援対象のスタートアップ数（+900社） ②スタートアップと県内企業との新たな連携件数（+217件） ③スタートアップの起業数（+180社） ④100億円以上の売上規模のスタートアップ創出（+9社）	関連URL	https://stationai.co.jp/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

申請者	愛知県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,262,031千円 (52,045千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	狩猟の担い手不足・高齢化の課題を解決するため、愛知県総合射撃場の既存機能を活かしつつ、新たな機能を整備することにより、狩猟の担い手の確保及び人材育成を図り、中山間地域の野生鳥獣による農作物の被害を減少させ持続可能な農業を目指す。		
整備内容・ 利活用方策	愛知県総合射撃場にイベント・研修会も行える多目的ホール、実際の狩猟さながらの臨場感を体験できる射撃シミュレーターやVR機器、ジビエ加工品を利用した食事やお土産の購入ができるカフェや農産物販売所といった機能を新たに付加することで、多くの方々に立ち寄っていただき、気軽に射撃に触れる機会を創出することで、狩猟の担い手の新規獲得・育成につなげる。 さらに、射撃利用者と一般利用者の動線を分離するためのセキュリティフェンスを設置し、マイナンバーカードを活用して射撃場区域への入退場の管理をする。また、マイナンバーカードの情報を活用し、イベント・研修会等のお知らせなどを行う。 ○効果促進事業 (ハード事業) の内容 【管理棟取壊し費】 49,933千円 【管理棟取壊し工事監理費】 2,112千円		
KPI	①地域における農林水産出荷額 (農業) (+186億円) ②狩猟免許所持者数 (+150人) ③鳥獣被害対策実施隊等の捕獲リーダー数 (+9人) ④総合射撃場利用料金収入 (+11,860千円)	関連URL	https://aispo-do.jp/



事業概要【師崎港観光センター周辺整備運営事業】

拠点当初

※PFI活用

申請者	愛知県南知多町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,324,404千円 (709,727千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	観光分野
目的 (効果)	「篠島」「日間賀島」へ渡る玄関口である師崎港観光センターを中核的な観光拠点として再整備し、立体駐車場による周辺の渋滞解消、観光施設内のフードコート及び物販施設での地場製品の提供、離島観光の促進などを通じて、地域活性化、観光交流人口の拡大を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	師崎港観光センター及び立体駐車場を整備し、フードコートや物販、駐車場横のスペースを活用したキッチンカーの出店や定期的なイベント開催により、当施設への訪問を目的とした観光客および利用客の増加を図る。さらにデジタルサイネージを置き、離島を始めとした町内観光・イベント情報を常に発信し、町内の他の観光施設にも波及させ、町内全域の観光客数の増加を図る。 ○施設整備等 (設備整備・用地造成を除く) の内容 師崎港観光センター及び立体駐車場建設工事に係る実施設計業務 12,409千円 師崎港観光センター建設工事、監理業務 131,379千円 立体駐車場建設工事 立体駐車場建築工事 565,939千円 仮設事務所等の設置工事 71,612千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数 (篠島・日間賀島) の増加 (+54,270人) ②宿泊者数 (篠島・日間賀島) の増加 (+10,000人) ③施設消費額の増加 (+42,000千円) ④高速船及びカーフェリーの利用客数の増加 (+135,662人)	関連URL	https://www.town.minamichita.lg.jp/kankosangyou/kankou/1004381/index.html



事業概要【多目的屋内施設を核とした笑顔と活力に満ちたまちのにぎわい創出プロジェクト】

拠点当初

※PFI活用

申請者	愛知県豊橋市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R9年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,000,000千円 (0千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	市民が気軽にスポーツに親しみ自発的な健康づくりを促進するとともに、プロスポーツやコンサートなど人々を惹きつける魅力的なコンテンツを発信し、地域内外から多くの人を呼び込み、その集客による経済効果を飲食、宿泊、観光など周辺産業や中心市街地に波及させることで、まちなかのにぎわい創出を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	本事業では、豊橋公園東側エリア内に多目的屋内施設の建設及び周辺公園施設の再整備を実施する。多目的屋内施設は、プロスポーツやコンサート、物産展などを開催できる5,000人以上を収容するメインアリーナをはじめ、サブアリーナ、武道場や弓道場などを完備し、多様なスポーツ利用に対応することができる集約・複合施設として整備する。 アリーナには、センターハングビジョンやリボンビジョン等の大型映像設備や音響・照明設備を配置し、観客の「観る」体験の魅力向上を図る。また、トイレの混雑状況の可視化、キャッシュレス決済、駐車場管理システムなどにより施設の利便性向上を図る。 さらに、災害時には受援のための活動拠点や支援物資の輸送拠点等として活用する。 ○施設整備等 (設備整備・用地造成を除く) の内容 【多目的屋内施設整備費】 実施設計 0千円 ○効果促進事業 (ハード事業) の内容 【大型映像設備整備費】 実施設計 0千円 ※本事業では、R6年度は事業者への支払いは発生しない。		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数 (若者世代 (20~39 歳) の転出超過数) (▲1,300人) ②市民意識調査で「中心市街地のにぎわいが5年前と比べ増している」と回答した市民の割合 (+4.5%) ③多目的屋内施設利用者数 (+223,600人) ④多目的屋内施設におけるBリーグの平均入場者数 (1試合あたり) (+4,640人)	関連URL	https://www.city.toyohashi.lg.jp/57264.htm



事業概要【大治町スポーツセンターリノベーション事業】

拠点当初

申請者	愛知県大治町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	619,177千円 (19,800千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	更なる町の発展と人口増を目指すための核として、従来のスポーツ施設としての機能に加え、「子育ての拠点」、「健康の拠点」、「交流の拠点」として整備することで、スポーツセンター全体を町の魅力的なシンボルとしての「多機能複合型交流施設」となることを目指します。		
整備内容・利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	子どもが体を動かす機会を創出する場として、「子どもの居場所」施設の整備、交流を創出する場として、「カフェ・物産コーナー」の整備、町民の運動習慣・健康意識定着のきっかけとなる場としての「スタジオ」の整備を実施。 また、マイナンバーカードを活用した入退場管理システムを構築することにより、気軽に利用者が入退場できるほか、施設管理の負担軽減を図る。 ○施設整備等 (設備整備・用地造成を除く) の内容 【実施設計費】19,800千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯 (+600人) ②リノベーション後の施設利用者数 (+70,276人) ③リノベーション後の施設の事業収入 (+68,746千円) ④リノベーション後の施設を利用したイベント開催数 (+50回)	関連URL	https://www.town.oharu.aichi.jp/4344.htm



地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【世代促進温室整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	109,803千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	老朽化した温室から新たに整備する世代促進温室へ機能を移転することにより、品質及び収量性に優れた水稻及び小麦品種の開発体制を強化する。これにより、生産者は質の高い農産物の安定生産が可能となり、生産者の農業所得が向上し、農業出荷額が増加することで本県水田農業が持続的に発展する。		
整備内容・利活用方策	天窓・側窓及び各カーテンの自動開閉装置を導入することで室温や日長の自動制御を可能とする新たな世代促進温室を整備する。併せて、米のおいしさや小麦の加工適性を数値化する味度メーター及び糊化特性測定装置を整備することで、高品質・多収性の優良品種の開発を促進する。 ・世代促進温室整備費：90,303千円 ・既存温室解体工事費：2,851千円 ・測定機器整備費：16,649千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①米・小麦の出荷額（合計）（+14億円） ②高温耐性品種の作付面積（+2,800ha） ③県内産うるち米一等米比率（+7.8%） ④世代促進温室における供試点数（+96点）	関連URL	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html



交配の様子



世代促進温室内（イメージ）

事業概要【生涯活躍のまち推進施設整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県小牧市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	21,881千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本市の中心市街地である駅前に立地する商業ビル「ラピオ」のこまき多世代交流プラザ内に健康増進施設を整備する。このことにより、より充実したフレイル対策を展開し、健康で生きがいを持った高齢者が増加することにより、地域の中で役割を持った市民が増え、支え合いの地域づくりが充実する、市民の健康と支え合い活動の循環する社会の実現を目指す。		
整備内容・利活用方策	市民の健康づくりに向けた“気づきの支援”・“きっかけづくり”の拠点となり、更には、社会課題の解決策を考える民間企業と市民をつなぐ、健康づくりに関する共創の拠点を目指す。デジタル技術を活用したフレイルチェックシステムやICチップを活用した食生活・栄養支援ツールを導入することで効率的・効果的に普及啓発ができる環境を構築する。 ①フレイルチェック、各種測定エリア：住友理工(株)フレイルチェックシステム、身体の状態測定、食生活・栄養支援ツール ②情報発信エリア：健康関連書籍、健康情報発信機能 ③相談、交流エリア：運動（リハビリ）、栄養、口腔等の専門職による相談、市民同士、市民と企業、企業間の交流機能 ④フリースペース：介護予防教室、企業、大学等の出展ブース ・健康増進施設整備費 他：15,031千円 ・備品購入費：9,124千円 ・光電話用配管工事費：301千円 ・食育SATシステム：4,451千円 ※フレイルチェックシステム導入に係る費用は本事業とは別に確保。		
KPI	①地域へのUIターン数（+600人） ②地域住民の健康寿命（+0.25歳） ③年間来場者数（+10,500人） ④フレイルチェック測定会参加者数（+1,350人）	関連URL	調整中



「フレイルチェック測定会の様子」

事業概要【道の駅 マチテラス日進によるまちのにぎわい創出拠点整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県日進市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	1,283,700千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	農業における担い手不足等の課題や、子育て支援に関する市民ニーズへの対応などに加え、将来、本市にも必ず訪れる人口減少と高齢化率の更なる上昇に対して、道の駅を整備することで、新規就農者の発掘、農地の保全等を図るとともに、出産・子育てに関する交流の場の提供、地域への愛着・誇りの醸成、市民間の交流や将来を見据えた関係人口・交流人口の拡大等を図り、地域振興を促進し、にぎわいのあるまちづくりを進めるもの		
整備内容・利活用方策	地域振興の促進、にぎわいの創出等を図るため、市内農業者等の農産物や開発した特産品を販売するとともに、幅広い飲食物の提供、子育て支援施設（屋内のプレイルーム）の整備等を行う。コミュニティバスの運行状況がリアルタイムで分かるバスロケーションシステムを導入し、より市民が気軽に訪れることができる場所とする。また、周遊アプリケーションで周辺の店舗やイベント情報を発信することにより回遊性を高める。 ・道の駅地域振興施設整備費：1,283,700千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産出荷額（+238,606千円） ②道の駅の売上額（+817,978千円） ③特産品等商品開発件数（+70件） ④子育て支援施設利用者数（+5,700組）	関連URL	https://www.city.nisshin.lg.jp/department/sangyoseisaku/kikan/3/index.html



事業概要【産官学民の多様な主体の参画による「共創のまちづくり」拠点整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県北名古屋市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	期間中の総事業費	150,800千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	産官学民の多様な主体の参画による地域・社会課題の解決や魅力的なまちづくりを推進する共創のまちづくり拠点を整備し、北名古屋市の魅力で『新しい人の流れ・にぎわい』を生み出し、北名古屋市の安心な暮らしを守り住み続けられる『まち』をつくる。		
整備内容・利活用方策	産官学民が連携し、新たなまちの魅力や地域の価値を共に創り上げるための「共創」の拠点として、北名古屋市市民活動センターを整備する。 コワーキングスペース、ミーティングスペース、イベントスペースなどを設け、すべてのスペースにWi-Fiを整備し、コワーキングスペースでのテレワークやミーティングスペースでのZoomミーティング、イベントスペースでのデジタルデバイスの活用が実現可能な、デジタルシフトに対応した拠点施設を整備する。 ・拠点本体工事費（71,427千円） ・設備整備費（44,062千円） ・デジタル設備整備費（9,966千円）		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲150人） ②施設の利用者数（+28,000人） ③拠点で実施するメンバーシップ登録制度の企業・団体数（+25件） ④行政以外の主体によるまちづくり等事業数（+200件）	関連URL	https://www.city.kitanagoya.lg.jp/machi/5400296/php

申請者	愛知県弥富市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	35,174千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	市民活動拠点の整備によって、多様化する市民ニーズに対して行政の力を借りることなく、市民や地域のそれぞれの強みと弱みを補い合う（マッチングする）ことで、市民や地域の活躍機会を増進し、市民活動の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	弥富まちなか交流館2階を改修し、以下の3つの機能を持つ市民活動拠点やとみつけベースを整備する。また、本拠点にはWi-Fiを整備し、オンライン会議の開催やデジタル媒体を活用した団体PR活動等が実施できる環境を整える。 ①市民が何かに困ったとき、何かを頑張ろうと思ったときに気軽に相談することができる相談窓口 ②活躍したい市民・団体・企業等の地域活動の活性化を図るために情報を一元管理し、活動のPRを行うコーナー ③市民が気軽に交流・活躍する場としてのフリースペース及びマルチスペース ・やとみつけベース整備工事費：32,716千円 ・やとみつけベース庁用器具設置費：2,458千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯（▲705人） ②やとみつけベースが仲介して、市民の相談事が解決に繋がった件数（+84件） ③やとみつけベースの入館者数（+4,000人）	関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） 令和6年6月公表予定 （効果検証） https://www.city.yatomi.lg.jp/shisei/1000749/1000763/1002378/1002379.html	81

事業概要【のき山学校サテライトオフィス等整備事業】

拠点補正

申請者	愛知県東栄町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	135,510千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	東栄町体験交流館のき山学校の施設整備を行うことにより、リモートワークやサテライトオフィス等、従来の活用に加えた新たな事業展開が可能となり、利用者数の増加による経済活性と交流人口の増加、移住定住への動因に結び付くなど、賑わいを保ち続けるまちの実現に資する。		
整備内容・利活用方策	東栄町体験交流館のき山学校（教室棟及び管理棟）について、デジタルを活用した生活を実践できる施設とするための関係機器等の整備及び耐震補強を行う。 レンタルスペース（フリースクール）、テレワーク室、レンタルオフィス、会議室等として活用することで、リモートワークやサテライトオフィス等として利活用する。 ・建物工事：101,731千円 ・設備工事：31,245千円 ・備品整備：2,534千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+10,000千円） ②施設利用者数（+5,000人） ③レンタルオフィスの利用団体数（+10団体） ④イベント等による収入額（+7,500千円）	関連URL	http://www.town.toei.aichi.jp